京城日報

二十四日夕刊

本紙定價　一部金五厘　一ヶ月金五拾錢
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　樋口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

○雲南軍叙州を取る

雲南革命軍は四川省叙州を陥れ士氣大に振ふと（東京電報）

○邦人炭坑に暴徒來襲　獨逸人の關係あり

二十三日午後五時石本氏經營の牛心臺炭坑に二百餘名の暴徒來襲して日本人七名負傷したるが内二名は重傷なり原因は土民の石炭私掘を禁じたるより彼等は巡警及び土民兵等と共謀し此暴擧に出でたり而して此には或る獨逸人も關係せりと（奉天特電）

○蘇士鐵道　完成して石炭不足

獨逸は土耳古軍輸送の爲め敷設中の蘇士鐵道を完成せるも只石炭不足に困惑し居れりと（東京電報）

○爆彈製造者逮捕

大隈首相邀撃に使用したる爆裂彈の製造者逮捕されたり（東京電報）

○上院尚は險惡

貴族院は豫算案を廿四日より分科會に移せり形勢猶依然として險惡の域を脱せずと（東京電報）

○滿蒙實業公司　大に土地鑛山に放資す可し

鮫島大將野田男爵中村中將樋山鐵三郎氏其他十餘名の發起にて滿蒙實業公司を興し大に滿蒙の土地鑛山等に放資する筈にて資本金は目下五十萬圓なるも或は百萬圓となる可し今月末か來月初に右準備の爲め野田男及び中原一郎氏來奉す可く右會社本店は奉天に置く豫定なりと（奉天特電）

○滿蒙鑛山會社

滿蒙に於ける金銀銅鉛等の鑛山一切を日本人の手に渡さゞるの目的を以て東三省陸軍測量局員張仁傑元吉林稅局員劉某等は會社を起し資本百萬圓は既に北京に於て準備成れりといふが白耳義レンデゲートが關係せる形跡あり（奉天特電）

雜報

◎御親詞電奏

二十二日は澄宮崇仁親王殿下の初御參內日なりしより山縣政務總監は同日宮內大臣に宛て御祝詞言上方を電請せり

◎初御參內御祝

澄宮崇仁親王殿下は二十二日御參內初めて天皇陛下と御對顏あらせられたるに付き李王、李太王、李堈公李埈公各殿下は同日使者を派して山縣政務總監を訪ひ御祝ひの言上方を依賴せしめられたり

◎總督以下賜勳

傳聞する所に據れば今回露國皇帝陛下よりジョール、ジユ、ミハイロウヰッチ太公殿下を經て寺內總督外四氏に對し勳章を贈與せられたりと

朝鮮總督　陸軍大將伯爵　寺內正毅
神聖アレキサンドル、ネヴスキー勳章（金剛石入）
海軍少將　森義臣
神聖スタニスラス第一等勳章
海軍大佐　田中耕太郎
神聖スタニスラス星章勳章
朝鮮總督府事務官兼朝鮮總督秘書官　池邊龍一
陸軍步兵少佐　大藤直
神聖スタニスラス第二等勳章（各通）

◎兩專校勅令案

工業、醫學兩專門學校及び專修學校に對する官制勅令案は大體に於て決定せるも之れが發布は豫算の通過を俟たざる可からざるは勿論なれば早くとも三月上旬ならでは發布の運に至らざる可しと

◎臨時長官會議

總督府にては二十四日午前九時より第一會議室に於て臨時長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官局長、山形大佐等の外軍司令部よりも代表者の出席あり緊急重要事項に就き協議打合せの上正午散會したり

◎練習艦碇泊期

練習艦吾妻、磐手の二隻は二十六日仁川に入港二十八、二十九の兩日候補生をして京城市內各所を見學せしむるは既報の通りなるが同港解纜期は三十一日歸途鎭海に寄港す可しと

◎支那特使先發動靜

過般遣日特使先發隊として京城迄赴きたる實業視察團一行は特使出發中止の爲め京城に滯在立往生の姿にて已むなく京城內を見物中なりしが一行中農商部參事張新吾同鐵司長張軼歐の兩氏は別れて鎭南浦方面の視察に赴き他の總統府諮議李鼎和、農商部顧問吳鼎昌、農商部工司長陳介の三氏は二十二日午前奉天に歸着大和ホテルに投宿せり三氏は二十三日朝發にて出發北京に歸りたるが猶農商工部技正施弼氏は目下病氣にて京城に滯在中なりと（奉天）

◎獨の鐵道策と蘇西突破　用意何ぞ周到なる

大屋鐵道局長官談

▲全歐洲に於て　戰爭前迄は巴里から君斯坦堡迄一路同じ列車が運轉してゐたのは他に比して一番長い距離であつた其れが戰爭と同時に各國分離して殆んど其國々丈けの範圍に縮少されてゐた戰爭が一年半續いて今日同盟軍が巴爾幹に勢力を得た結果として伯林から君斯坦堡迄一路直通する樣になつた佛蘭西、白耳義のシンジケートが經營して居た萬國寢臺會社の線（巴里若府間）は勿論巴里から獨逸も通つてゐたのだから今度獨逸が伯林から君斯坦堡に到る間を經營したと云つても距離に於いては短い譯だ聯合軍がガリポリ半島に上陸してた間は兎に角サロニカの遠征軍と相對して同盟軍の地中海に向ふ

▲門扉を鎖して　ゐた譯だがガリポリ半島から撤兵して以來同盟軍の東南に向ふ門戶は開放された事になる尤も英國遠征軍がガリポリ半島から撤兵しない以前から同盟軍の一枝隊＝土耳古軍＝は小亞細亞に活動してたのだから愈ガリポリ半島の守護が不必要となれば小亞細亞出征軍は以前よりは、より以上の勢力となつて活動する樣になるであらう同盟軍の小亞細亞出征の目的は勿論蘇西にある蘇西の聯合軍殊に英國に取り重要な事は元よりの事で重要である丈け其丈け攻擊される事が大打擊となる一面同盟軍の目的が蘇西にあるのも其爲めにあるや勿論である一度蘇西の守護が敵に廻ればジブラルタル、マルタの英國海軍根據地があるにしても地中海の制海權が意味を成さない事に成る

▲蘇西の生命　は東西聯結にある地中海の制海權も蘇西あればこそ重きを成す——其蘇西が危險を感じ出す樣に同盟軍は小亞細亞に活動しようとするのだ無論今頃は盛に小亞細亞を南北に鐵道工事が多忙を極めてゐる事だらう然し小亞細亞と云つても蘇西迄には仲々だ夫れに砂漠地帶では第一に飲料水の缺乏が最も困難だと云ふし大砲や軍需品の運搬にも一通りならぬ困難がある譯だから鳥渡には出られもしないが又一面から見れば獨逸の驚くべき精力に依つて是等の困難を排除して突如として蘇西の橫ツ腹に遠征軍が現はれるかも知れない何しろ獨逸の今日迄と云ふものには所有方面に於て

▲驚くべき準備　があつた戰前から戰爭の準備がしてあつた必ず今日の事を豫期して總ての設備がしてあつた鐵道にしても萬一と云ふ時には直に軍用に供せられる樣にしてあつた乾度參謀本部では時間割なども幾十通りとなく出來てたに違ひない露境に向つては何の線をして何處々々の軍隊を怎ふ輸送するだとか白佛方面には怎だとか最後軍隊を輸送する時の汽鑵車、客車乃至は後續の軍需品輸送の貨車は怎だとか、何でも

▲公園のベンチ　は直に貨車に當嵌る樣に寸法が定つてたと云ふ事だが其等も長いから二三寸切るとか一二尺短いから繼ぎにしようとか云ふのでなくて其れこそ寸分の過不足もなくしつくりと規定してあつたに違ひない戰前の或る時期に於て獨逸の世界に名のあつたのは醫學位のものであつたけれども科學的の智識を巧に取り入れて化學工業に應用し殆んど他の覬覦を許さぬ樣になつた一口に言へば餘り勉強するから、餘り悧巧過ぎるから憎まれたと云ふ事にもなる無論其の遣り方よくなかつた事は萬々だが兎に角獨逸の各方面の勢力は恐るべきものであつた其結果として今回の大戰爭が惹起され然して今日尚其終結さへも判明しない樣な強大な力を振つてゐる

◎京城商議總會期日

京城商業會議所にては二十六日賣掛代金に關する委員會を開きたる上更らに二十九日午後二時より本會議を開會することに決定せり

◎趙子爵謝禮宴

前共進會京城協贊會副會長趙子爵は鮮人側同會役員一同を代表し吉原同會々長を始め內地人側役員諸氏を廿四日午後明月館に招待したるが子爵は席上來賓に對し共進會開會中諸君の厚き同情を以て多大なる援助と指導とを與へられ大なる過失も無く功を以て圓滿に協贊の任務を完うするを得たるに付き感謝の意を表する爲め本宴を開きたる旨を陳べ尙ほ將來も內鮮人協同一致京城の繁榮策を講究實行し且つ朝鮮全道の産業發達上にも努力せられんことを希望すと附加したり

◎スタール博士入京

去る十四日奉天北鮮方面の旅行中なりし米國市加古大學敎授スタール博士は二十四日午前七時半南大門驛著鐵路附近仁寺洞なる大華館に投宿したり博士今後の旅程は未定なるも兩三日滯在の上南鮮或は咸鏡道地方に向ふべしと

◎公學堂教師團入京

滿鐵沿線各地の公學堂內地人敎師十五名は二十五日夜南大門驛著汽車にて入京二十六、七の兩日京城市內及び各學校を視察し二十七日夜出發の筈なるが歸途平壤に立ち寄る可しと

◎龍山初年兵檢閱

師團第二十六旅團長伊藤少將は步兵第三十五聯隊初年兵檢閱の爲め昨二十三日夜入京龍山に滯在中なり

◎隈部警務部長披露宴

京畿道警務部長隈部信親氏は著任披露の爲め二十四日午後六時より警務部直接關係官衙高等官約七十名を朝鮮ホテルに招待す

◎地方警察署長移動

本月二十日附警務總監部辭令を以て左の移動ありたり

水原警察署長警部　秋山榮太郎
補安城警察署長
安城警察署長警部　松本三亥
補水原警察署長

○伊太利內閣危機に瀕す

伊太利內閣は危機に瀕し多分ルザノナン內閣を組織す可しと噂さる（倫敦電報）

人事消息

▲花島次男氏（東亞煙草販賣課長）廿三日內地より歸任
▲櫻澤騎兵大佐（黃海道警務部長）廿三日內地より釜山上陸北行
▲宮原研二氏（鴨江商會釜山代理店）廿四日京城に出張
▲平山都督府參謀　朝鮮駐箚軍司令部と事務打合せの用務を帶び廿七日午前龍山著入京の筈
▲菱田靜治氏（總督府通譯官）二十四日夜歸任
▲藤谷達吉氏（江原道警務部長）二十四日午前出發赴任
▲牌林啓太郎氏（咸興炭坑會社專務）入京中の處二十三日午後釜山へ
▲李容稙子爵　廿三日午前九時十分南大門發沙里院へ
▲首藤多喜馬氏（第六旅團長）廿三日夜平壤より龍山へ
▲赤尾虎吉氏（醫學士）病院用を帶び大邱へ

南言北語

五國が最う一度鐵拳を突き出さうと密々相談して居る事を知つた北京政府では▲其ら大變だと機先を制してマア〳〵待つた帝政は延期するからと出た處は却々素敏い▲が、最う少し素敏かつたなら此樣に求めて苦勞をせずとも好いのだつたのだらうに▲兎に角延期の聲明はしたものゝ何の說明もない其處が未だ油斷の出來ぬ處だ▲之れを惡意に解釋すれば討伐軍が雲南に進する時迄だらうとも云ふ▲而し五國が勸告した趣旨は戰亂の虞なき迄である▲勿論支那も其意を諒して居る事は雲南軍が起た時非公式に各國に向け何時迄帝政を延期せば好いかと問うて來た事もある▲我國からも非公式に雲南動亂の鎭定を以て先決問題とする旨を通知して置たと云ふ▲其處で少くとも雲南討伐の功を奏する迄帝政の實行を見る事はなからうとの事だ▲處が長州征伐當時の幕軍然たる討伐軍は鳥渡雲南軍を鎭壓する事は見込が立たぬ▲第一次革命亂勃發の際清政府は大赦令を行つて動亂を鎭めんとしたが却て革命黨から爲すなきを見縊られて叛亂を激成した結果は彼の通り▲今度の北京政府の延期聲明も帝政永除とでも云へば革命黨蜂起にも口實がなからうが單に延期だけでは清政府の大赦令と同樣或は却て一層反抗の度を增すかも知れぬ何としても困つたものぢや▲物は思ひ切り一とつ戰爭は最後の五分間袁總統も大概は思ひ切つたら好かり相なものだがナア▲墨國のローワー、カリフオルニヤの米國境附近に日本陸兵三百名が夜營して居たと米國の一二新聞は傳へ上つて居る▲此處迄來ては恐日病患者も聊か精神に異情がありはしまひかと思はるゝ▲亞米利加には富士河の水禽に驚いた平家の末孫が大分居るらしい

百萬金を投ずるも健康は購ひ難し
蜂印香竄葡萄酒は
朝夕一杯宛にしてよく身体の健全を保ち精力の增進を來す
何となれば無限の滋養と其美味とはすべて血となり肉となり力となる
內外國の最高金銀牌廿四個受領

賣捌元　東京本町　近藤利兵衛

京城學校組合告示第二號
一金五拾圓
右者京城府壽町久芳直介殿ヨリ當學校組合特別基本財産ノ内ヘ寄附セラレタリ
大正五年一月二十四日　京城學校組合

生徒募集
本年四月入學セシムベキ本校第一學年生徒約九十名ヲ募集ス
詳細ハ一月二十四日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ本校ニ付承知スベシ
大正五年一月二十四日　釜山中學校

◎大勉強仕候◎
淺草海苔
東京府下大森町　藤森商店　電話大森四一二番

鑛山賣買の速かなる事は京城府安國洞一五三番地（電話二三六四）中厚永の鑛山賣買仲介所に依賴するに限る

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎日本書畫骨董大辭典	池田常太郎	特二、〇〇
◎格言大辭典	芳賀服部安井	特二、〇〇
◎肥料的麥作改良法	鈴木千代吉	二、六五
◎小學校に於ける教育教授の實務	澤正	一、五〇
◎小賣商店廣告法	淸水正己	九〇
◎實用新聞雜誌廣告術	四卿寺良	五〇
◎新論語	村上俊藏	特一、二〇
◎通俗講話四季の衛生	枝元長夫	八五
◎商家經濟中流生活法	嘉悅孝子	八〇
◎我等何を爲す可きか	加藤一夫	一、六〇
◎隱元、木庵、即非	高橋竹迷	一、〇〇
◎詩傳乃木大將	兒玉花外	八〇
◎日蓮上人	熊山芽城	一、二〇
◎戀の秘訣	紅葉粹人	五〇
◎女性中心說	レスターウオード	七五
◎貧乏と戀と	安成二郎	六〇
◎歐州文壇印象記	野口米二郎	一、〇〇
◎虞美人草	夏目金之助	一、二〇
◎銀花双紙	泉鏡太郎	一、三〇
◎朱葉集	[illegible]	一、〇〇
◎踊	[illegible]	八〇
◎十字路	[illegible]	一、二〇

大阪屋號書店　京城本町電話二〇八六番振替京城一五十三

京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）
入院隨意（普通病室並に隔離病室）
小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

日本少年
二月號價拾錢　郵稅一錢五厘
口繪入　名將軍少年時代逸話
東郷元帥……仙波中將
神尾中將……楠瀨中將
……福島大將
……上原大將
海軍少將……佐藤鐵太郎
陸軍中將……村木雅美
飛行將校……岩富中尉
▲黃海の大海戰赤城艦橋の鮮血
▲玄米を食つて山寺で修養した……
▲飛行機墜落談松中から眞逆樣……
▲北海の孤島で冬籠り……志村烏嶺
▲新大關大錦出世物語……鐵血生
▲女巡……竹本芳水
▲密書……松山思水
各府縣中學校入學試驗問題
受賞者一千名用紙本號
記念大懸賞　日本史蹟調べ
半年七冊增刊共稅七十二錢
東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替三三六番　全國各地書店

二月號出來
少女の友
柳散る梅若……今西吉雄
『梅若丸の母は狂へる人の樣に立上つて、『梅若や、ゆるしてたも、そなたが門出の時言ひ聞かせた母の言葉に、足らぬ處があつたわいな。』と身を悶へた。柳の葉はヒラ〳〵と散つた。梅若寺で撞き出した鐘の音は、コーンと淋しく響いた。
■父母の留守に來客の場合は……下田校長
■缺席しないのは生徒の本分……嶺脇主幹
■曖昧の答案を書かない生徒……林訓導
■孝行の仕方はよく選ぶべし……記者
■賢母ウヰルヘルム一世の母……記者
（○定價拾錢郵稅壹錢○半年附刊共七冊稅共七拾錢）
東京京橋　實業之日本社

恩給立替貸金
黃金町池櫻井町入軒西四ツ角
元祖　博多屋本店
電話一一三一番

史外史傳 風雲兒(三)

京城時代の袁總統 彼れ其の辣腕を漸く王宮内に揮ふ

其の書翰には「袁世凱は余の股肱の腹心の者であるから何時に由らず余と同じ者として大小の事を相談せられたい」と云ふ旨が認められて有つた。朝鮮政府と彼れとの間は兎に角それでも納りが付いたが、憤慨したのは外交團である。直ちに會議を開いて彼れの傲慢なる態度を排斥すべく決議し、且つ其の資格に就て支那政府と朝鮮の外衙門に向けて彼れの公使なるや否やの照會狀を發した。然るに支那政府では言を構へて明答を與へず、朝鮮政府では散々回答を遷延して置いた後に、漸く前任陳の後任者にして結局陳と同樣に通商事務司と認むる旨の回答をしたので、外交團では到頭彼れを陳と同樣に外交使臣とは認めざる事にした。而して國王謁見の際も彼れは外交團と同一列に謁見する事を得ず、毎日其の後の時間に於て別門より王宮に參入して謁見する事となつた。各國使臣は之れを以て彼れに對する腹癒せを爲た心算になつて居つたが、蓋ぞ知らんや彼れに取つては之れが却て勿怪の幸であつて彼れは之れが爲めに誰れ憚らず其の辣腕を王宮の内に揮ふの好機を得たのである。彼れの王宮參内は外交團に一ト足後れて大袈裟の行列で其の乘物は外國使臣等の遠く及ばざる奥深き處まで乘入れ、動もすれば朝廷各大臣以上に王に接近して漸次其の牙を現はした。

彼れの失敗は猿が樹から墜ちた型

しかし當時の朝鮮政府も眞に彼を信賴して居つたのでは無くして、彼の威喝に半ば以上恐れを抱いて其機嫌を損ぜざる事に勗めて居つた位で依て面從腹背漸く敬遠主義を取る事に成つた。機敏なる彼が之れを氣附ない筈はない。そこで更に宮中府中の者に賄賂して其の離心を買ひ漸く聲望を恢復した。其れと同時に彼れは彼れに取て二つの難問題を朝鮮政府から依囑せられた。その一は明治十八年英國が露西亞とアフガニスタン問題で兩國交危機に瀕し英國が一時巨文島を占領した事が有つて朝鮮政府から頻に抗議を申込んで其の還附を迫まつて見たが、英國が頑として聽き入れなかつたので、朝鮮政府は彼れの力にて巨文島の還附を英國政府に交渉して貰ふ事と、第二には金玉均の樣以來政府の亡命客の日本に居る者が尠くないので、其の引渡し方を日本政府に屢々交渉して見たが其れが能きなかつたので、此れをも彼の力で日本に交渉して貰ふといふことである。彼れの考へではさして大事件でないから何かの交換問題を提出したなら、日英兩國政府が其の要求を容れるに相違ないと獨りで呑み込み妄請合に之れを引受けて終つた。處が日英兩國は彼れから此の交渉を受けて一も二もなく撥ね付けて終つたので、朝鮮政府及び朝鮮人の彼れに繋いで居つた信頼は忽ちに離れて其の聲望は殆ど地に墜て終つた。此の間に在つて露國の對韓外交は漸次活躍し、公使ウエバール氏の如きは王の信任非常に厚く兩國間に特種の條約が結ばれたと云ふ噂さへ高まる程であつたから、彼れの不滿不平は一通りのものではなかつた。則に歸ると腹心の者二三と共に夜を撤して何事をか語り合ふ事も有つた。

●太公京都の御歡興

―御陵御參拜の上大阪へ―

露國グオルギー、ミハイロウイツチ太公殿下にはタキシエフ少將以下各隨員並に寺内總督以下各接伴員を隨へさせられ二十三日午前八時京都驛著特別臨時列車にて御入洛直に御旅館なる圓山長樂館に入らせられた

▲歡迎の誠意を表すべく奉迎門の施設其他準備をさく怠りなかりしが當日京都驛には大森知事、井上市長、松川第十六師團長以下各將校其他府市名譽職員等列を正し沿道烏丸より四條通りを經て圓山に至る間には各學校職員生徒其他整列して待ち奉る。軈て特別列車の停車するよと見る間もなく殿下には最後部の展望車より御下車あらせられ莞爾やかに御會釋し給ひつゝ奉迎の松川師團長大森知事等と握手し給ふ、斯くて構内の御車寄より自動車に召され萬歳聲裡に御順路を長樂館に成らせ給ふ當日

▲圓山長樂館にては樓上西部の過般伊國大使夫妻の宿泊したる最も見晴し好き洋室を御寢室に充て其の隣室は御居間にて御居間には和洋草花を以て繚爛目を眩ずる許りなる裝飾を施せり、殿下は御著になるや直ちに階上の御居間に成らせられ、暫し長途の旅の御疲れを忘れさせ玉ひて模糊たる京洛の風光を賞でさせらる、此の時井上市長恭しく伺候して

▲京都市の獻上品を奉呈す、獻上品は甲冑並に太刀にて甲冑は具足式兜龍頭、金色作り緋縅鎧一領と之に銀作り本太刀一口を添へ鎧は二百年前太刀は二百五十年前の何れも徳川時代の作にて裝飾用美術品としては頗る見事なるものなり、斯くて十時頃ともなり御陵御參拜の時間到れば殿下には大禮服に御召換へあらせられ御順路を桃山御陵に成らせらる當日

▲伏見桃山御陵にては殿下の御參拜あるべきに付き豬谷御陵墓監以下奉仕して御陵域内を清掃し御陵道には第十六師團京都衛戍各部隊其他各學校生徒等多數整列し奉迎す、殿下には四方の景色の最と麗しきを眺めさせられつゝ御徒歩にて御陵前に參進直立不動の御姿勢にて親しく御拜禮明治大皇帝の御靈前に御見事なる花環を獻じさせ玉ふ次で東御陵に御參拜ありて正午御歸還御晝餐を召され午後二時御出門三條長橋より京阪電鐵の貴賓電車にて大阪に向はせられたり(大阪特電)

●東京大相撲春場所成績總評

東京大相撲春場所も愈々二十三日を以て千秋樂を告げた東西幕内の星取表を見るに東方百九に對し西方六十一其差實に四十八誠に未曾有の事にして其優劣の餘りに大差あるに驚かざるを得ない而かも力士個人を比較する時は左程相異なきに土俵の成績に斯くも大差を生ずるは全く力士の意氣に因るものであらう何にしろ東方は出羽の海門下が其中心となり何れも意氣衝天に引替へ西方は小部屋の集合體にて從つて統一を缺ぐに依らんも又太刀山朝汐伊勢の濱等の大將連が休場したのが全體の成績に大影響を及ぼした樣である先づ東方力士より各箇の成績を評すれば

△大關西の海は場所前不元氣と稱せられしに拘はらず土付かずの好成績恐らく彼れが入幕して初ての出來榮えであらう關脇玉手山以下に勝つて横綱たる鳳と引分けた以上當然彼れの横綱問題は起るであらう尤も今場所鳳との相撲は少々臭い處もあつたが彼れの體格相撲振り乃至多年大關としての功績から云へば申分の無い横綱だ但し腰の惡い彼れは横綱となつてからは鳳以上の不成績を見るかも知れぬ

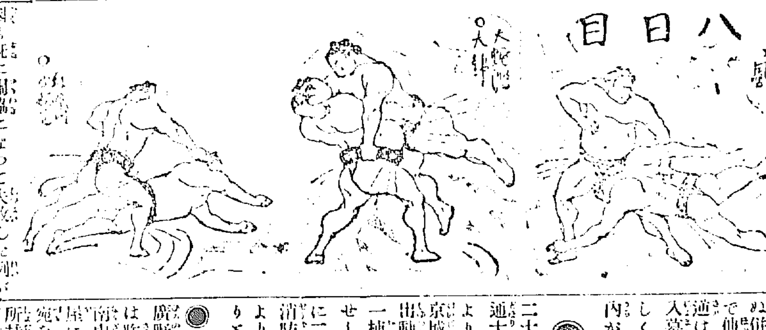
△大關大錦弱敵に對しては非常に大きい相撲を見せて誠に堂々たる大關力士であるが今場所彼れは四箇の黒星を頂く可く記者は豫想して居た、それが二つで濟んだのは太刀山朝潮伊勢の濱等との顔合せなかりし爲めにて一横綱二大關を除いて尚ほ二箇の黒星は大關として誇る程の成績では無い鳳に小手投を喰つたのは順當としても眞砂石に敗れたのは彼れのまだ相撲の若い證據である尤もそれだけなほ未來はある

△關脇對馬洋は案外好成績であつた三日の負けに五日の勝ちで關脇の地位を維持し得たのはヌーボーの彼れは上出來だ之れ彼れが天賦の體格力量のお蔭で追々には大關にもなるであらう

△小結綾川も亦二箇の負け星に五箇の勝星は近年に無き好成績で中には横綱を倒した金星もある本來なら關脇に昇進する處を對馬の成績が惡くない爲め小結に居据りは聊か氣の毒である彼れは今が全盛時だから今の中に稼がないと後から大分押掛けて居るから一度落ちると取返しが付かなくなるであらう

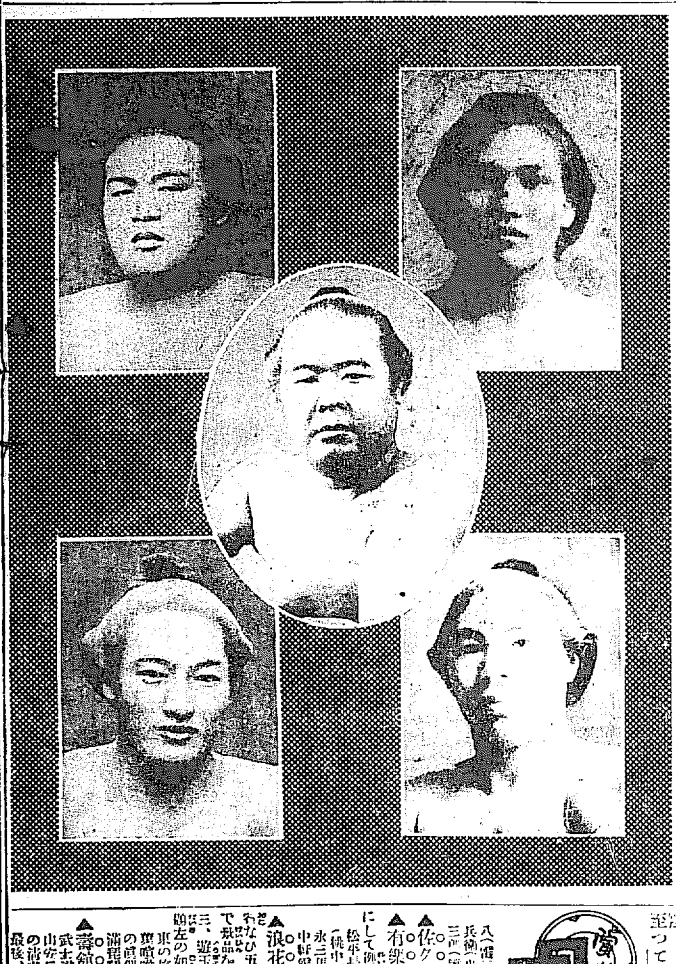
△筆頭栃木山は七箇の勝星二枚目兩國は八箇の勝星あるも何れも上位の力士が星を殘して居る爲め昇進は出來まいが西方不振の爲め給金を直しただけでも得として何れも褒位賞に我慢せねばなるまい五枚目の九州とても其通りだが之れは小常陸釋迦ケ嶽が下るから當然二枚は昇進するであらう一體栃木兩國九州等出羽海門下今場所の働らきは非常なものであるがこれは平生の稽古の賜と又師匠出羽の薫陶のお蔭である此三力士の中で大物は九州山で栃木は弱いは弱いが決して大關力士でない兩

に勝つかと思へば簡單に負ける處は大力士としての資格を缺ぐ證據で先小結邊の力士で似寄りの力士を求むれば先代の逆鉾とでも云ふ格である



國も既に關脇になつて失敗した例がある彼れも決して役力士でない前頭筆頭邊に居つて人氣を博する處恰かも先代兩國と同型である此外

△宇都宮の好成績は當然であるがまだ〳〵相撲が粗笨で三役力士にはなれない今一層の修錬を要する新入幕の源氏山は幕下時代から三役の實力ありと云はれ稽古場では栃木兩國九州等と互格で今場所九個の勝



■優勝力士(右上)源氏山(右下)宇都宮(中央)西の海(左上)九州山(左下)兩國

星は尊いものだが立合ひが如何にも汚なくてそれが爲め勝つても人氣が無い此邊は大に彼れとして研究すべきである

△次場所の陷落者は緋縅逆鉾龍ケ崎も或は落ちるかも知れぬ併し新入幕候補は梅川の逆戻り位で他に餘まり好成績が無いから龍ケ崎邊は其儘居据るやも知れず毎場所新入幕候補の涸れる東方としては珍らしくも途絶えたものだ恐らく今の幕内が東方全盛の絶頂であらう

●龍山の火事

二十四日午前三時五十分頃龍山漢江通十三番地材木商櫻井某方木挽小屋より發火したるより新舊龍山消防組京城より南大門消防詰所より常備隊出動消火に努めし爲め小屋一棟住家一棟及び多數の木材を燒失して鎭火せしが損害額約二千八百圓なるが右に二千五百圓の保險を附しありと因に消防の際新龍山消防手伊藤某は屋上より辷り右足に輕微の挫傷を負ひたりと

●下宿屋荒し

岡山縣勝田郡廣野村生れ住所不定の甲田はる(三七)は昨年十一月より京城旭町一丁目、南山町一丁目、旭町二丁目等の下宿屋に投宿し宿料四五圓乃至十二三圓宛を蹴倒して逃走し或は僞名し又は所持金あるものゝ如く裝ひ本町筋の吳服屋より反物を詐取したる爲め本町署の刑事に引致され取調べらる

●武術大會

京城本町署にては二十四日午後新年武術始め大會を催ふし署員の試合ありたり

◎京中の武道大會 京城中學校にては二十九日第四回武道大會を開催し午前中は學生側午後は一般外來者の演武あるべし

●猛猪と格闘す

……り毛を逆立て飛び込んで甘鐵漿に噛み……甘鐵漿方格闘を極め組みつほぐれつ……は前記二人になや歩され殆んど半死の有様なりしも他に助勢者なき……

●小泥棒

佐賀縣小城郡岩松村……

●釜山中學生

より檢事局へ送らる 釜山中學校にては……年生……

●朝鮮農學會

催する由……年安南道廳職員を以……すべし可し會期は六箇月……完了日は一週……月水金の三日にして時間は午後七時より……時迄一時間なり會長は……

天氣 ▲一月廿五日 晴れ時々曇り

●特志

本紙廿三日記載の猩紅熱に感染したる本町署常設消毒所消毒夫島本德次氏及び家族の不幸に同情し左の如く本社を經由して見舞金の贈與ありたり

金五圓 一丁目 官諸堂井上藥品部

春場所星取表(○勝●負×分△預)

東の方	成績	西の方	成績
大錦	[illegible]	鳳	[illegible]
西ノ海	[illegible]	伊勢ノ濱	[illegible]
對馬洋	[illegible]	太刀山	[illegible]
綾川	[illegible]	朝潮	[illegible]
栃木山	[illegible]	玉手山	[illegible]
兩國	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小常陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釋迦嶽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	黒瀬川	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四海波	[illegible]	石山	[illegible]
鳴門洋	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	千年川	[illegible]
龍ケ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇都宮	[illegible]	[illegible]	[illegible]
源氏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	玉椿	[illegible]
逆鉾	[illegible]	柏戸	[illegible]
緋縅	[illegible]	寒玉子	[illegible]
吉江	[illegible]	小野崎	[illegible]
勝一〇一負八十二		勝六十一負八十七	

大塊翁がパゴダ公園の青木堂で俳句會を催ふした時に並城博士の一の隠藝たる馬を請ひ、て其上に大塊翁が贊をした席上書きが早く綴子の表裝をされて床の間にかゝつて居る▲恐らくかゝる優待を受けた事は御兩人とも絶後はいざ知らず空前の事であらう併し是が千年も立つたら確に千圓位の價値は出るでもあらう青木堂も千年辛抱したら千圓の寶物が出來る譯だ▲千代本で總督府や實業家の連中より成る圍碁會は本年より新に竹爪碁會と命名されは惡法なぞ出來て一層發展するさうだ日曜に催された本年の初碁會は中々盛んで賞品の如き一等より十二等まで總花的の大奮發であつたが中に十四等に當つた人でこんな下では奥さんの手前恥かしいとあつて包紙を破り賞品丈持ち歸へる人もあるさうな▲近頃三枝九葉草と云ふ藥品が發明されたので大分内々熱心に服用して居る人物もあるさうな其効用に至つて別々天機洩すべからずだとか

◎演藝

▲壽座 二十五日の替りは唐犬權兵衛、赤頭丈八(團三郎)女房お時(梅若)平井權八(團三郎)村嶋(梅三郎)水野十郎左衛門、庄兵衛(先十郎)藤本(梅殿)岡市正兵衛、才三郎(源太郎)幡隨院長兵衛下女お駒(長太郎)で切お駒才三白木屋の段役割左の如し

▲佐々良座 新派劇三輪費一派にて興行中

▲有樂館 綾瀬川二十四日の語物は左の通りにして例により角力四十八手甚可なあり 松平長七郎の鏡(吉田若秀)[illegible](桃中軒岳風)[illegible](吉田秀廣)天野屋利兵衛、桃中軒與太夫力士銘々傳安藝丸の話(綾瀬川)

▲浪花館 遊三一行は場内に於て聴衆懸賞をなし五分間以内の發見者には一等より三等まで賞品を呈しつゝあり二十四日夜の懸賞者は遊三、遊玉、お茶子一名なり次ぎに二十五日の演題左の如し
東の旅(三勝)茶びんれぶり盆ゝ山(樂之助)千里喧嘩手頭(遊三郎)夢金(寝樂)寝ほしひ動物の眞似(遊玉)美術紙切(梅陽)[illegible](四升)[illegible](三尺坊)文七元結(遊三)

▲壽館 燕左衛門廿五日夜の語り物左の如し 武士道の魁(文右衛門)岡野金右衛門(燕若)[illegible](香右衛門)[illegible](むら鶴)二度目の請賃(北海入道)女武士道(山本松子)左近の最後、[illegible](燕左衛門)

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

電話 [illegible] 振替貯金口座 京城 [illegible]

支店出張所 東京、大阪、平壌、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

營業課目

船具金物、鐵道、鑛山、土工建築材料、ペイント及油各種
天幕雨覆製作、朝鮮古有
直輸入品ハバクスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候
總督府認可船燈救命具信號器販賣所
近江帆布株式會社朝鮮一手特約店
大阪小森製鎖場製品朝鮮代理店

仁川本町一丁目 電話長五六 振替京城九九 村谷吉藏本店
平安北道義州城内 電話長二一 振替京城九八一 支店 義州印刷所

例年の通り一月十一日より『三日間』

記念福引大賣出し

詳細は追て本紙上にて發表仕候

仙臺大町 藤崎吳服店

●特價發賣申込の好時●

青坡 吉村君潔著

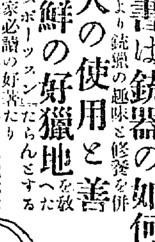
銃獵之趣味

見!銃獵の手引―多獵を希望せん人―朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を熟知せざるが爲なり

本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり

獵犬の使用と善惡を說き 朝鮮の好獵地を敎へたる處始めてスポーツマンたらんとする人は元より獵家必讀の好著たり



定價四十錢 特價金三十錢(郵稅[illegible])

發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

……方十五六頭もあるべしと思はるゝ一頭の山猪現はれたるを以ていでや一打と打殺さんと手早く得物を取つて山猪に打つて掛りしが猛猪は怒……とも逃げずに噛まれ甘鍾奨は肩及び腎部に大牙傷四箇所其他全身に小牙傷十數箇所を蒙り妻梁季岩は脚部に數箇所の咬傷を受けたりし山猪……向ひたるも兩人……摊夫山中よりの……鍾を以て斬り殺したり因に甘鍾奨の負傷は生命には別條なかるべしと（大邱支局）

……三本を奪取して之を……初めに他二箇所にて小泥棒を働き昨年十月頃匪主より集金を命ぜられ十四圓餘を横領消費したる爲め本町署……

●果樹講習會　三浪津尋常小學校に於て來る二月三日より總督府より久米技師を派し果樹栽培講習會を開……

……日より第二學期を開始しつゝあるが從來は單に道廳職員のみなりしも今後は同道所屬官署の職員及び學校職員は勿論其他何人に拘らず入會を許……第一部長にして幹事は松尾、松山、真鍋の三氏講師は内鮮人三名なり因に會費は一箇月三十錢（同道職員に非ざる者は五十錢）なり

●東蒙不穩と滿洲

宗社黨の蒙匪と疑心暗鬼の段將軍

南支の風雲益々急なると共に北方內蒙古にて巴布札布の率ゆる東部蒙古軍起り蒙匪も亦之れに伴れて蠢動しある爲め曩に雲南獨立軍討伐の目的にて京奉線に依り續々輸送されたる錦州駐屯の二十師兵は其の後北京方面より山西省歸化城は今急に瀕しつゝある歸化城に向けられ目下蒙古軍の防備に從事しつゝあり蒙古軍及び蒙匪の裏面には宗社黨の操縱あるもの、如く日本に亡命中なる宗社黨の大立物升允と宗社黨たる國璋、張勳等との間に秘密に何等かの方法の下に連絡を執りつゝあるもの、如くにして其の歸化城に殺到せる蒙古軍は

▲清朝再興の旗幟を翳へし居ると云へるが之れを事實とせば宗社黨との關係淺からざるを察知し得べし東部蒙古は斯くの如くにして昨今頗る不穩の形勢を呈し來りたれば帝制謳歌者にして袁世凱氏の股肱たる奉天上將軍段芝貴は蒙古の擾亂と共に東三省方面にその影響を及ぼすにおいては由々しき一大事なりとて警戒一層厳を加へ宗社黨員、革命黨員の搜查逮捕に最も意を用ひ我が租借地及び鐵道附屬地內に引續き

▲變裝せる多數の密偵を放ち往々我が警察權を侵害して迄も異類の檢擧に維れ日も足らざる有樣なるが疑心暗鬼に囚はれたる支那官憲は宗社黨にも革命黨にも何等關係なきものまで續々逮捕し而して其の嫌疑者を碌々取調べもせずして牢獄に投じ又は夜中郊外に引ずり出して亂暴にも片つ端より殺戮しつゝあり之が爲め却つて人心の恟々を來たし良民も今や其堵に安んずる能はざる姿にて滿洲も漸く不穩の狀態を呈し來らんとす因みに奉天の支那官憲は邦人の經營にかゝる奉天發行の漢字新聞盛京時報が南支革命亂、蒙匪蜂起等につき其の電報を紙上に掲載するを頗る神經に疾み我が領事館に對し同紙の言論に制裁を加へむことを屢々要求すると共に政府筋の漢字新聞をして南支形勢の重大ならざる事蒙匪蜂起の虛報なる事等を故らに掲記報道せしめ居るも心ある支那人は今や之を信ずる者なし（大連）

●慶北私營養苗

慶北私營養苗事業に就て道廳當局の調査に係る管內大正五年度に於ける見積額は成苗四百五萬四千百十六本幼苗二百三十八萬二千六百五十本計六百四十三萬六千八百十六本にして內地人養苗は公立小學校九個所個人の經營に成るもの二十一個所計三十個所を算し鮮人の經營は公立普通學校四十二個所公立農學校四個所面苗圃六十個所實業研究會支部の經營に係はるもの三十六個所其他造林組合一個所殖林種苗圃一個所個人の經營百五十個所にして總計二百九十四個所なるが營利を目的とせる種苗商は全部內地人の經營に係り其數僅かに三個所に過ぎず

●道路工事進捗

釜山より大邱、慶州を經て京城に至る一等道路は爾來着々其の步を進めつゝあるが海平より尙州に至る間は目下改築工事中既に七分通迄は進捗し來月中には全通の豫定なり

●邱馬線の竣工

馬山より大邱に至る邱馬線二道線中玄風邑外の堤岸工事は既に其の竣工を見尙ほ玄邱間の改築工事は全部二十三日より開通せしにより工務所に於ては二十三日を以て引上げ玄風邑外は二月八日盛大なる開通式を擧行せんとて目下其の準備中

●甘浦築港請願

慶北慶州郡陽北面甘浦港在住內地人は豫て同港の築港を切望し客年八月總督府宛港內の實測及び設計方の請願を爲せしことありしが爾來當局よりは何等の沙汰なく今日に及びしも在住民は益々築港の急務を感じ同港內に防波堤を築造せられんことを慶州郡守に陳情せんとて松岡庄一外一名は在住民を代表して本月二十日同郡廳へ出頭せしに恰も慶北道廳長官は地方行政視察の爲め同郡廳へ出張中なりしを以て直接陳情請願したるに依り道長官は近々技術員を派遣して實地踏査を爲さしむべき旨を應答せり

●運賃値上斷行

朝鮮郵船會社にては時局のため船腹拂底並に各物價騰貴のため止むを得ず二月一日より運賃値上を發表せるに對し釜山雜貨商組合及び移入商組合にては右値上實施を年度限即ち四月一日迄延期願を郵船會社に提出交涉する所ありしは既報の如くなるが之れに對し會社よりは兩組合の要望せらるゝ趣旨には重々賛意を表し居るも昨今經濟界の情狀に依り餘儀なく拒絶斷行する旨回答ありたりと

●平壤肉の暴騰

暴騰したる牛皮牛骨の暴落するにつれて反對に生牛の騰貴を來したる平……

饌牛は從來競爭の結果中肉五錢上肉八錢並ロース十二錢に販賣しつゝ有りしも到底引合ふ可くも非らざれば今回同業者は協議の末精肉販賣組合を組織して中肉十錢上肉十六錢並ロース二十錢上ロース二十五錢肉ロース三十錢に値上をなしたるが此れを競爭前の値段に比較するに各等共に二錢高なりと

●大邱通關貿易

大正四年度大邱稅關出張所の取扱による輸出及び移出額は三十九萬六千八百三十七圓にして輸入及び移入は百六十五萬八百五十七圓を算し之を前三箇年間に比するに輸移出は三年に比し六割元年に比し三倍強にして輸移入は三年に比し一割四分元年に比し三割強なり今之を合計して三年に比すれば三割強元年に比し五割弱を示し大體に於て著しき增加を見たるが其の原因を尋ぬれば輸出にありては穀價昂騰に伴ひ殊に玄米の輸出增大に因るものにして輸入にありては綿絲織物並に建築材料鐵材等の需用の激增にあり

史外の史

全羅南道榮山浦の前面の小丘下に、大きな寺院の遺址がある、此の寺は昔時興龍寺と云つて有名な寺であつた、高麗太祖莊和王后吳氏の父で多憐君と云つた人が代々木浦に住で居たが此多憐君が沙干連位の女で德交と云ふを娶り莊和王の妃を産むだ王妃が未だ娘の時に一夜浦龍が腹中に入つた夢を見て覺めて父母に語つたが、何れも唯不思議な事だとして居た、時に莊和王が水軍將軍となつて羅州に來て舟を木浦に泊めた其の時フト見ると洲上に五色の雲が棚引いて居たので王は怪んで其處へ行つて見ると一人の女が白布を洗つて居た、其處で王は此の女に水を求めると女は水を容れた器中に柳の葉一枚を泛べて飲み過ぎならぬ樣にして持て來た、王は之れを奇として遂に王妃となした、此の妃こそ多憐君の娘であつて惠宗王の母である、後此地に寺を建て、興龍寺と云つたが今は遺趾のみ殘つて居る

（此欄に投書歡迎史外の史係）

●慶尙農銀總會

慶尙農工銀行は既報の如く去る二十二日同行內に於て定期總會を開催したるが出席者二十餘名慶北道廳よりは吉村第二部長の臨席あり第十五期損益計算書を承認し分配案を可決したり

●平壤寒氣凜烈

二十二日以來平壤地方は寒氣俄に加り二十三日の如きは零度下十度に降り大同江は全く結氷し渡路差閊無きに至れり

●南濱魚港修築

釜山府廳にては本年度豫算案中なる南濱突堤破損の修築を行ふべく二十一日佐藤事務官と矢野稅關長と協議せり

●陝川水電の進捗

大邱の小倉武之助、野口遵兩氏の企畫經營に係る陝川水力電氣は其の實施踏査を遂げ晉州方面にも水力電氣供給の爲め二十二日小倉氏は同方面に出張

●馬鎭電燈使用數

京城電氣株式會社鎭海支店の調査に依れば馬山鎭海に於ける現在電燈使用數如左

	使用戶數	電燈數
馬山	五六七	一、七九八
鎭海	四二八	一、九二七

右を十燭に換算する時は二二、二五七個になると

●矯風會表彰さる

慶北道軍威郡義興面芝湖洞矯風會に於ては去る一月九日傷害致死犯人金鳳述を逮捕せしが夜間にも拘らず會員の召集を爲し協力所在搜査に努め敏捷なる行動の下に深更一時三十分難なく加害者を逮捕し其旨所轄義興憲兵派遣所に急報したるは矯風會の趣旨を遺憾なく發揮したるものにして其の行爲の奇特を賞し警務部よりは賞狀を贈り其の美擧を表彰せられたり

社告

地方部長　奥田鯨洋

右地方狀況視察の爲め忠清南道方面へ出張致させ候間同地方愛讀者各位に謹告仕候也

京城日報社

●慶北道長官歸廳

既報の如く去る二十日慶州方面に地方行政視察の爲め出張せし道長官李軫鎬氏は二十二日歸廳したり

●平壤青年會十周年會

平壤實業青年會にては二十三日午後三時より黃金町在鄕軍人會演武場に於て創立十周年記念大會を催したり出席者は來賓として張參與官、瀧警務部長、岡原旅團副官、三浦副官、安部鮮銀支店長、谷井漢城山本百三十中學校長及び各新聞記者等十數名會員八九十名の多數に達したり定刻會長大橋恒藏氏より過去十年間の事業報告及び開會の辭あり來賓側よりは瀧警務部長、安部鮮銀支店長、在鄕軍人分會長等の祝辭ありたる後會員の演說等ありて中々の盛會を極め宴を撤したるは五時半頃なりし

●自動車商會新年宴會

平壤自動車商會にては廿四日定期總會を兼ね新年宴會を喜樂に於て催したり

●連絡船上陸客

廿三日午前入港新羅丸二等客（一等五名）久保成治、町田道二……岡部友三郎……岩田當六……外一名（二等百十一名）

廿三日入港弘濟丸二等客　一等なし（二等六名）平岡政太郎、山北宇太郎、小西二人、谷口雄市、砂谷佐平……清水卓三郎、湊信太郎（三等六十五名）

商況

債券現物特電

東京　二十四日出來値段（前日との比較）

	値段
東洋拓殖	七二、二〇
朝鮮銀行	一五九、〇〇
南滿鐵道	一〇〇、〇〇

公債直取引

東京　二十四日出來値段（前日との比較）

	値段
五分利特別	九六、一〇
四分利甲	八三、〇〇
四分利乙	八四、〇〇
五分利	九五、一〇

深川在米特電

二十四日現在高

	石
朝鮮米	一八三、八二八
臺灣米	八九、九二三
內地米	一二八四、八〇五

東京期米特電

廿四日前場　二月限

寄付	高値	安値	止め
一三、八八	一四、〇九	一三、八三	一三、八五

大阪株式特電

（大阪株式、東京株式、大阪商船、日本郵船等　前場・後場　値段 [illegible]）

大阪三品特電

（二十四日前場　一月限乃至六月限　[illegible]）

大阪期米特電

二十四日前場

限月	寄付	引
一月限	一、八〇〇	一、六〇〇
二月限	一、八〇〇	一、九〇〇
三月限	一、二〇〇	一、三〇〇
四月限	一、〇〇〇	一、一〇〇
五月限	一、九〇〇	一、九〇〇
六月限	一、九〇〇	一、九〇〇

下關期米特電

▲二十四日前場　當限寄付 一三、八五　中限寄付 一三、九八　先限寄付 一四、六八　め止

賣買停止

朝鮮物產特電

釜山大豆、慶州大豆、群山……、元山大豆、城津大豆、龍山……、長湍大豆、平壤大豆、仁川小粒、義州大豆、平壤大豆、群山大豆、木浦大豆　（値段 [illegible]）

雜報

●石油愈値上げ　一五十錢の値上發表

石油は既報の通り二十二日午後に至り內外油共に各一五十錢の値上發表せり……

三割方位の程度

分配送付　注文數の二

貫兔尙一段の價格騰

値上げも今後一二回に止まるべきかと

●染料益々強硬

全百七十圓乃至百五十圓迄事實取引行はれつゝある

一二百圓を實現

最早天井に近し

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　三巴仲買店　電話長三三、七三九

●紙類續て昂騰

●西洋藥品活況

●米餅入荷す　上物二十八圓五十錢次物二十一圓五十錢落　案外人氣良好

●燐寸昂息荒し

田中（一定期賣買の……）電話長一六一五二八番

●白絞油氣丈　一般十二圓五十錢賣を敢行

●洋釘値下げ　一圓安を發表

下關相場

京城正米

各地商況

吉　行賈仲買店　仁川海岸町　電話長九三二番

十五錢方下値

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米　二十四日前場　十三錢高　四節五

十八錢の安移

十五錢と押さ六

依然保合ひ

市場零聞　前場の商戰

▲前場保合ひ

一向目新商內行

利喰に投げ混戰

▲更に展開せず

其方に氣を取られ

再度の保合に市場氣乘らず

▲大阪の成行如何

五十錢の最安値を報　前寄十四圓

何分腐り切つた大阪の成行は未安心　買の時代に非ず

▲寒氣襲來乎

仁川米豆取引所　二十四日の三月限

賣買取組高

北濱だより

▲支那問題と紡株

▲明治製煉株

第十二版　齊家處世の要道　趣味修養の經典
生活と處世
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵稅二錢
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、世に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を闡明するもの也。

第五版　處世小訓
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵稅二錢
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力説したる處世實學の兵禱也。

第十三版　家庭小訓
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵稅二錢
子女敎育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版　文學漫筆
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵稅二錢
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は敎育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に觸るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版　文學斷片
□蘇峰學人著　定價金二十錢□　郵稅四錢
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり。斷片と稱すれども、每編悉く是れ精金美玉たり。

第六版　漫興雜記
□蘇峰學人著　定價金十五錢□　郵稅二錢
昔は詩人謠うて曰く「詩多漫興無佳句」と然れども人の肺腑に徹する天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを現躍なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

大賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

豫報

▲京城溫度　廿四日正午　攝氏十八度七分……最高……最低……

越後大評定

第百十席 早川貞水口演

綱國の悔悟

三浦四郎左衛門より申上げましたのを御聽き遊ばして三河守殿、綱『アヽとんだことを致した予は三度までしんみり異見を致せしも、若紫の色香に迷ひ終に氣にも留めざりしが事玆に至ては何とも慨然千萬樓主若紫の亡き跡は悉く弔ひくれ』四『へエ心得まして御坐る』綱『定めし若紫の身の代等も未だ其方手許に殘り居ることならん、其等の所は予が承知いたした、後より金を送り遣はすぞよ』四『へエ恐入ますが、其御會釋には及ばぬので御坐います、希うか此後は決して吉原などへは御運び下さらぬやう、御身を御大切に、御家を御治め被遊度』綱『イヤもう其身の親切過分の至りぢや』四『恐入りまして御坐います』そこで綱國公は竹屋に繫ぎありました御船に召して、越の海を御伴れになり築地の御上屋敷へ御著きになり、水門口より御入遊ばさうとすると、もう此處は堅めが付て居りまして、松平大和守樣御家來、可兒大膳と云ふ者が、二十五人の足輕を率ゐて堅めて居ります』可『誰人で御坐るか、最早當屋敷は嚴重にして夜中水門より入ることは許し申さぬ』愕然あそばし綱『予であるに依てこの所を開けい』可『予とは誰樣で御坐る』綱『三河守綱國ぢや』可『斯は怪しからぬことを申す、三河守綱國公は、御當家御主人たり、夜中水門より御出で遊ばす譯は御坐らぬ、控へては殿樣の御名前を僞はる曲者と覺えたり、者共油斷を致すな』『心得まして御坐る』恐ろしい大きな聲で喚鳴り付けましたから、益々御驚き遊ばし仕方がないから、表御門に御出になると、此處は松平越前守御家來、駒井中務と云ふ者が嚴重に堅めて居る、一向な門を開けることは出來ぬ、其れから通用門へ御廻りになると此處は松平出羽守御家來、乙部勘解由と云ふ人が堅めて居る、サア殿樣どうあつても御屋敷へ御歸り遊ばすことが出來ない、綱『最早此の上は致し方がない、皆予が不心得より此の如き始末、切腹致すの他なし』と、あはや綱國公が御切腹あそばされんとするのを、越の海灘右衛門が、灘『マア御待ち下さい、只今御腹を召した所が、相濟む譯で御坐いません、兎に角御思慮あそばして此處は御立退き下され度、私が何れなりとも御供仕ります、尙だ是御國の御屋敷もあることで御坐います假令只今の如く御門の御堅めが付きましても、其内に御殿樣の御身の上を御心配下さる御家臣も御坐いませう、私共相撲取にて、何のことも辨まへず、今日迄御供致して參りましたが、兎に角この所は御思慮下し置かれ度』頻に縋つて御止め申したに依て、綱『此上は是非に及ばず然らば灘右衛門、愛宕下の天德寺は、菩提寺であるによつてあれへ參らう』灘『心得まして御坐る』是で越の海が御供をして、愛宕下の天德寺へ御入來になりますと住職月山和尚が『ハア御傷はしい事で御坐る』と、兎に角御客間へ通し申して、事の仔細を伺ふと、殘らず御後悔あそばし御話があつたにより、月山和尚は一倂し作ら是と云ふのも、御傍に在りし人々のはからい宜しからず、それがため此の如き御身の上、是非なき事に御坐いますれば愚僧これより御上屋敷へ參り御願申上て見ませう』

一月廿六日九星 舊十二月廿二日 壬戌 本命五黄 八方 納先賀

▲一黄 ……▲六白 ……▲七赤 ……▲八白 ……▲九紫 ……▲一白 ……▲二黒 ……▲三碧 ……▲四緑 はんまな事多き日 新事手控ゆべし

◎『少年』と『少女』の二月號 數ある子供の讀物の中で最も純潔清新なる好讀誌として好評ある東京時事新報社の『少年』『少女』は新年號の大盛況に鑑み二月號より面目一新斯界のレコードを破れり『少年』『少女』は定價十五錢

演藝案内

新龍山 佐久良座
自然派劇一行 一月廿六日の初日 ▲月城 全十場

御成座 電話二九一
二十三日目餘題 人の妻 喜劇越後獅子

詩館 電話一〇五〇
九日目演題 武士道の譽(文右衛門) 岡野金右衛門(般若)中山安兵衛(香右衛門)義烈百傑むら雲二度目の清書(北海入道)女武士道(山本松子)左近の最後、金看板甚九郎(義勇の譽(長講三席讀)左衛門 大入御禮の爲め入場料特別大低減

黄金館 四丁目 電話二六三七

壽座 本町 電話五七八

浪花館 明治町 電話二一六〇番

大正館 櫻井町 電話八七三番

有樂館 本町一丁目 電話二六六
力士浪花節綾瀨川山左衛門一行 一月二十四日二十六日目演題 ◎松平長七郎の續き(吉田若秀)◎北條武勇傳の續き(喜樂亭喜樂)◎寛永三馬術の續き(桃中軒岳風)◎天野屋利兵衛(桃中軒雲太夫)◎力士銘々傳安高丸の續き(綾瀨川) 大切餘興として一人土俵入り四十八手裏表七五三弓取迄御高覽に供す ◎廿五日七日目演題 ……◎特等六十錢一等五十錢二等三十錢三等二十錢

流經靈藥月やく下し
通經劑
▲月やく閉止 ▲不順 ▲不通 ▲困難
に用ひ速に其目的を達し其效用の偉大なること遙に類似藥に優越す
流經劑 壹圓 武圓 九拾錢 五圓 四圓 廿錢
東京北品川町 日新舘製劑部

滋賢 田春丸
陰萎病並に神經衰弱に大効あり
岸田吟香

女の子の髪にも 男の子の髪にも
美髪用クラブキニーネとクラブ美髪用ポマードは
髪を黒く素直にし
不思議に艶髪の色を増す
日本名物 クラブ香油
男子の御髪にも女子の御髪にも有効
特長 原料と
日本名物クラブ香油は極上の椿油、山茶花油、扁桃油、橄欖油等を主要な原料とし更に髪の營養になる藥劑と貴重な香料とを加へて謹製した天下一品の香油で髪の光澤を増し發育を助け切毛拔毛を防ぎフケを除るに卓効あるのみならず何とも云へぬ床しい薫りは最も貴婦人紳士の御嗜好に適し近來各地共非常な賣行きであります
髪には
クラブキニーネで髪を洗へフケを取り頭を爽かにしクラブ香油又はクラブポマードにて髪を柔軟に黒く艶を出して分けになれば一層おおひになりまら御婦人の御髪に用ひます

絶大の價値無限の賣行
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話
初版壹萬賣切 再版亦盡んとす
定價金八拾錢(郵稅六錢)
袖珍總クロース四百頁頗美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や初版壹萬部を賣盡して尙要求盛んなるに付改訂大增補を行ひ再版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城永樂町二丁目(商品陳列舘裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

酒精アルコール
直輸入元 仁川花町 坂倉伊平商店

汽車 ……

京城日報

二十五日朝刊
(第三千十號)
定價 一部金三錢 一ヶ月五十錢
廣告料 五號活字一行金 …
發行兼編輯人 …
印刷人 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 …

總督の諭告と吾人の覺悟

十九、遞信行政

統監府時代に於ける遞信行政は其施設不完全を極め、殊に通信行政の如きは數個の機關獨立して相互錯綜し何等統一するなかりしより諸般の經營に不利不便を感ずること尠からざりしが、明治三十八年韓國通信機關委託に關する取極書の締結以來、漸次合同整理の實を得、保護制度の施行後は擧げて統監府の掌理に歸したり。然れども其機關簡單にして行政上遺憾の點鮮からざりしを以て併合後總督府は朝鮮總督府遞信官署を設けて更に船舶海員の監督、命令航路、航路標識等の海事行政、電氣事業の監督及び發電水力の調査に關する事務をも管掌せしめ、茲に遞信行政の完全なる統一を見るに至れり

就中通信事業は最も總督の意を注げる所にして夙夜當局者を奬勵し當事者を鞭撻して之れが改善擴張に努力し來れる結果、今や著しき進展發達を示し、通信現業機關の如きは併合當時四百九十九なりしもの、昨年末日は六百一を數へ、又設備及び取扱事務の不完全なりし既設の機關を改善せし數尠からず、斯くて其主要機能たる郵便遞送及び集配は愈々敏活正確となり、交通至難の島嶼を除く各郵便局所々在地には毎日少くとも一回以上遞送郵便物の到着せざる所なきに至り、平均一日の遞送延里程は通常道路、鐵道及び水路を合し併合當時に於ては六千二百五十六里なりしもの、昨年三月末に於ては九千七百七十二里に增進し、各地に至る郵便遞送日數に著しき短縮を來せり、又集配に付ては地方の發展及び通信力の增進に伴ひ經費の許す限り集配區劃及び集配回數を增加し、平均一日の集配延里程は併合當時六千六百九十三里なりしもの、昨年三月末に於ては一萬五千八十八里に增進し、通信の安固正確は一層堅實を呈せり

又電信電話は地方の發展に伴ひ、漸次主要の地點に其取扱を開始し尚ほ電信回線の設備に就きては常に地方の趨遷と通信力の關係を調査して之れが改善に怠らず、殊に京城對東京、大阪、下關間、元山松江間等に直通電信回線を設けて朝鮮內地間に於ける電報の疏通敏活を圖り、又日露兩政府協定の下に滿洲浦鹽斯德間に日鮮直通電信回線を敷設し、大正三年末より通信を開始せしが四年度に於ては更に之を京城に延長して京城浦潮斯德間の直通となし、大に鮮西鮮北との連絡に努めたり、茲に於て併合當時に於ける電信線路は延長一千三百七十二里、電話線路延長總計百五里なりしもの大正四年三月末に於ては電信線路一千七百四十八里となり三百七十餘里を增加し、電話線路延長一千九十里となりて實に十倍以上に達せり

支那の鐵道（九）

滬寧鐵道

滬寧線を敍するに當り少しく上海呉淞線に關し說くの要あり、支那人が此線を敷設せるや其條約を悉く取外し、機關車、客車其他一切を海中に委棄したることは上述の如くなるが、其後一八九七年に支那は盛宣懷督辦の下に再び上海呉淞間線路の敷設に著手し、其後山東鐵道の技師に命じて工事を進行せしめ、一八九八年に至り此線は再び開通の運となれり。此會社は純然たる支那會社なりしが、上海南京鐵道敷設權の附與せらるゝや一百萬兩にて賣却せられ、一九〇四年十月には中英公司に引繼ぎを了したり。

抑說、上海南京線敷設に關しては一九〇四年二百二十五萬磅の外債を募集し、翌年上海南翔間の第一期線十二哩の竣工を見、一九〇六年には蘇州と金錫間竣工し、一九〇八年には遂に南京に達せり。此鐵道の權利の過半は中英公司の所有なりしと雖も、經營の監督權は五人の委員に委託せられ、會社の總裁は支那政府之を任命する事とせり。從來未だ收益を見ざるも此鐵道は支那に於ける鐵道中最も確實有望のものにして、今や諸般の改善に力めつゝあり、其の收益を擧ぐるの期は蓋し遠からざるべしと信ぜらる。此鐵道は上海より南京に至る百九十三哩を幹線とし上海呉淞間十哩、南京市街線七哩を枝線とす。

雲南鐵道　佛國の活動

佛國の支那に於ける鐵道事業は南方に在り、而して南支那に於ける佛人の鐵道事業が始めて世人に重要視せられしは一八九八年にして、即ち印度支那に一大鐵道系敷設の問題の起れる時に屬す。茲に少しく雲南線に關し詳記せんと欲す

千八百九十七年十二月印度支那總督府は幹線鐵道敷設案を高等會議に提出せり、政府の理由書の一部に曰く鐵道問題は全極東に於ける懸案たる事は我競爭者の活動並に各國支那派遣委員の奮鬪に見るも明かなるべし、佛國政府も茲に鑑みる所あり技師を派遣し東京より南清諸省に進入し同國各部府に連絡すべき鐵道線を調査せしむべきを決議したり、英國は今日迄吾人の行動の遲々たるに反し大膽にも緬甸より雲南及び四川に達すべき線路の踏査に著手し以て我が商權を奪はむとするものゝ如し、苟くも我が素志を遂せむと欲せば此の平和的爭鬪に一歩を輸するが如き事あるべからず吾人は雲南に達する爲め既に紅河平原を通過するの便宜を有するに非ずや、何すれぞ此便宜を利用し本國政府と共に支那進入の基礎たる雲南鐵道敷設に努力せざるべきや

斯くの如き斷乎たる主意の下に高等會議は速かに佛國の印度支那鐵道案の調査を進めたりき

財界時言（廿四日）

滿洲の鐵道と朝鮮

○近頃滿洲方面の人士の、滿洲鐵道政策を論ずるものにして、安東より通化を經て吉林に至るの鐵道線は、吉林會寧間豫定線に比して寧ろ東部滿洲開拓の爲め必要有利の線たるを說き、或は安奉線經由日滿連絡線が大連經由線に比して有利ならざるを論ずるあるを聞く。吾人は單に滿洲のみの立場よりして之を論ずる時に右の如き見解の必ずしも無理ならざるべきを思ふと雖も之を我が帝國の大陸發展といふ立場より見る時は、全然之に贊する能はざるなり。

○彼の豫定線たる吉會線の如き、其の經濟上の價値が、果して軍事上の價値程にあらずとの結論は、未だ安東吉林線を以て軍事上にも經濟上にもより多く有利なりとの對照論を引き出す能はず。況んや朝鮮に於ける京元線が、將來吉會線と連絡して直ちに北滿の豐富なる農產地帶に通じ得るに於て、其の經濟上の價値の如何に大なるかは、今日より豫想し得るものあるに於てをや。

○安東經由日滿連路の、大連經由線に比して不利なるを說くに至りては、朝鮮線の價値を誣ふるものにして、殊に安東通過關稅の三分一減の特典は、線に出る通過貨物運賃の滿洲行系布は、所謂全く大連經由線を去り、有利なる朝鮮經由を選ぶに至りしことは、統計數字の明白に示す所にして、又之を疑ふの餘地なきなり。

○吾人は單に鐵道政策のみに限らず、我が滿蒙發展に關する各種の方策が、ともすれば最も重要なる朝鮮の關係を遺れ居るを、邦家の爲め慨して已まざるなり。滿鮮經濟統一の必要は、識者の間に一の輿論となり、朝鮮を足場として滿蒙を經營するの、最も策を得たりとするの論が權威を收めつゝある今日に於て、往々朝鮮の說を閑却するを甚だ遺憾とす。苟くも志を滿蒙の經營に注ぐ人々の猛省を乞はんと欲する所以也。

大阪より

△對朝鮮貿易　大阪稅關調査に係る本月中旬對朝鮮貿易表は左の如し

	一月中旬	一月以降
移出品價	八六九、七三四	一、三六六、三七四
移入品價	一、四九九、七〇〇	二、九七〇、四六六
入出超	(入)六〇〇、一六六	(入)一、六〇四、一一九
移出金銀價	五〇、一四五	五〇、一四五
移入金銀價	一四、七〇〇	二七、七〇〇
入出超	(出)三五、四四五	(出)二二、四四五

▲移出重要品

	一月中旬	一月以降
綿布	四四四、五二一	五〇七、四九九
清酒	三〇、七三五	三五、〇〇〇
綿絲	八一、八〇八	一一六、八三三

▲移入重要品

米	…
豆類	…
牛皮及水牛皮	…

△晒粉休業決議　大阪晒粉同業者　晒粉會社を始め各會社とも更に七十錢の第三回値上を發表し上物八圓丁度と稀有の高値となり前途尙ほ騰貴の形勢あることゝて晒業者の苦痛一方ならず今回泉州方面及び大阪府下の同業者は來月一日より當分休業することに決議せり

△三製糖會社賣出　新糖處分問題解決したる爲め臺灣、明治、新高の三製糖會社は二十一日より其製品分蜜糖を十七圓五十錢の値段にて賣出したり

△大阪金融小締　市中金融は越年後極めて閑散の成行を示せるも流石月末接近と節季切迫との爲め小緊の狀を呈し地方より決濟資金の需要頻繁なる模樣を告ぐるに至りしかば、コールは小締りを示し五毛高の無條件六厘五毛乃至一錢、月越九厘乃至一錢、引手形一錢三四厘を唱へて底意堅き狀勢となれり、併しコールは前途引締りを見越して短期に對しては出合あれど長期は全く出し手なき有樣となり割引手形も他に好投資物なき爲め市中に流動せるもの殆んど稀少の如し目先格別新材料なければ月越後は再び以前の緩漫の狀態に陷るや必然たるべし(大阪發)

余は朝鮮の冬暖を望む
山林の繁茂は暖を誘ふ
野田東拓副總裁談

記者東拓の副總裁室に大塊翁を訪うて『昨今聊か寒を催ほしたるも未だ昨年の比にあらず、朝鮮の暖氣について御考如何』と問ふ、副總裁は應へて

▲溫暖は生物の母　吾輩は溫暖といふものは抑も生物の母であると思ふ、一體緯度を本位とすれば京城即ち朝鮮の中部の如きは信州か上州邊と同じと云ふではないか、果して然りとせば此等の地方に比して京城は常に寒氣に過ぎると思ふ、緯度の關係より見れば零下十度二十度といふのは不相應の寒氣と云はねばならぬ、畢竟是れは朝鮮に山林が少ない結果だと思ふが、併し始政五年の成績に見るも半島の山野は可なり繁茂して居ることを知り得るのであるから、して見れば朝鮮も山林の關係より漸次溫暖に赴くのは蓋し自然の結果だらうと思ふ

▲蟲害何ぞ憂へむ　吾輩は決して寒い事を希望する者に非ずして朝鮮より以上暖かにならんことを希望する者である、尤も暖氣になれば種々の害も從つて生ずる、第一に虫害の如きは大に慮らねばならぬものである、併し此蟲害なるものは物の生じた上の問題であるので、先づ生ぜぬ處は即ち總ての穀類の如き花卉草木の如き其處に繁茂せざる土地だらうと思ふ、穀類花卉草木が繁茂すれば從つて蟲が生ずるであらう、斯くの如く五穀及草木の繁茂するのに蟲が生じて之を害する、而して其蟲を除てこそ初て吾人人間の力を現はすことが出來るではないか、即ち收穫の多きを望み得る次第である、富國即ち之に因るものである、現に內地の東北地方の如きを見よ、虫害の憂は無いが總ての生物の發達が鈍いではないか、之に反して九州の如きは一般に產物が豐富にあると共に蟲害も亦從て多い、併し九州地方では世の進步に伴ひ之を驅除する事に勗めたが爲めに蟲が減じて生物は益々繁茂し近年彼の通り農事が發達した事は世人のよく知るところである。そこで我が朝鮮も、從來の朝鮮であるならば今日の寒氣の如きは寧ろ暖氣過ぐると云ふこともあらうが、現今の朝鮮としては零度以下廿度及び將來の朝鮮としては零度以下廿度といふ如き寒氣は先づ此處で打切りにして將來は溫暖なる朝鮮となして農產物の充實せんことを希望して已まぬものである

▲冬雨を欣ぶ　尚ほ聞く所によれば從來寒中に雨といふ事は極く少かつたとのことであるが、近來は暖氣なるが故に往々雨が降る。寒中に雨が降ることは良い事だと思ふ、寒中に雨が降ることの多大なれば地中に吸收することは吾輩古老に聞いて居る、之れも山林繁茂の結果であらうと思ふ、又冬の雨は成分の含有力が強い事も聞いて居る、內地の如きは大に冬雨を喜ぶのである、果して然りとせば今夏の雷鳴と同じ事であらう、果して然りとせば今夏の如き朝鮮も水量に於て一層多い事だと思はれる

京日詩壇

○忘機吟社龍年會分韻得先　永井烏石
龍年第一酒詩筵。老壯復追鷗鷺緣。覺風流無主客。縱橫醉筆染雲箋。
評曰 風趣盎然

○同上得文　小永井槐陰
和氣洋洋散凍雲。舊盟歡會壯斯文。來呵筆展鸞箋素。落墨淋漓龍作紋。
評曰 神來之作一氣渾成

○同上得冬　高井椿堂
論詩今日興情濃。綠酒淋漓笑瀉胸。筆有人看亦快。墨痕淋渤起雲龍。
評曰 壯快無比

○同上得蒸　安永春雨
其臭如蘭淨似冰。風流壇上集吟朋。春偕和氣慶雲頌。歲在飛龍興可乘。
評曰 清挺之筆

○同上得蕭　西田白陰
蘇家吟興慕高標。白戰方知脫俗囂。絕新年詩氣壯。乘龍宛欲上岧嶢。
評曰 字字有清響

○忘機吟社席上偶拈　奧田鯨洋
移南山下十迎春。塞外老梅年共新。看蛟龍飛躍狀。草廬高臥是何人。
評曰 揮筆出塵表、亦是一奇策

○同上　古城梅溪
忽逢五十六回春。春去春來歲新。今夕須傾今夕酒。人間那有萬年人。
評曰 句句活動、疊字好措置、如此而免弄奇之誚

○同上次韻　成田魯石
君迎五十六回春。年年看豪氣新。爛詞華根抵在。吊境壓倒壯齡人。
評曰 推揚不虛筆力亦敵

第七拾七期貸借對照表

負債之部

各種預金	二〇、壹四貳、五〇〇、九五貳〇四
借入金	五貳〇、〇〇〇
他店ヨリ借	壹、參九五、貳五六、九壹〇
資本金	參、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	七〇〇、〇〇〇
滯貸準備金	五〇〇、〇〇〇
未拂配當金	貳、參九〇
前期繰越金	參九六、九參七
當期純益金	壹五四、六六壹
本支店間未達勘定	壹、參六九、六〇〇
合計	壹六、七〇七、參九〇、壹八〇

資產之部

諸貸出金	壹參、六九八、八七參
割引手形	五、參六〇、七九九
諸證券及ビ荷爲替手形	壹、八八七、七九壹
雜勘定	壹、參、〇九八
有價證券	壹、〇貳貳
他店へ貸	參、四七八、六〇〇
地所建物	壹、七六〇、八〇〇
新築費	貳參、〇〇六
金銀有高	壹、參六七、四五六
合計	壹六、七〇七、參九〇、壹八〇

利益金處分

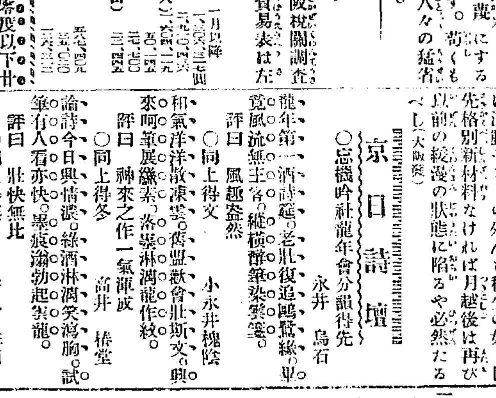
當期純益金	壹五四、六六壹
前期繰越金	參九六、九參七
合計	五五壹、五九八
內 法定積立金	壹五、〇〇〇
賞與金	四、六〇〇
配當金(年八分)	壹貳〇、〇〇〇
後期へ繰越	參五、九六八

右之通候也
長崎縣長崎市築町百七番戶第壹號
株式會社十八銀行

頭取 永見寛二
副頭取 松田英三
取締役 高橋守太郎
同 野口孝太郎
同 足立瀧二郎
同 松田精一
前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
監査役 藤瀨宗一郎
同 山田又三郎
同 高見和平

少女畫報

□蛸の運動……石川博士
□神杉……伊藤博士
□私が私が……高島顧問
□選礦(礦の働き)……和田古江
□蜜柑のシーズン……記者
□梅の匂ひ(少女文話)……內海月杖氏
□孝女妙子……村上武三郎氏
□姉より妹に(東京の印象)……永代美知代子
□千代子さんの一日(家事)……手塚かね子氏
□王女春音姫(少女お伽)……小野小峽氏
(寫眞口繪)
□賀陽宮姬宮殿下
□東京市奉祝街道
□中國の市街
□梅の落葉
□雪のスケート
□バザー
□木の結ひ
□髮の學生
□女學生の今昔
□少女のスケート
□ストウブの前(原色版少女畫)……渡邊文子女史筆
寫眞小說 野の花(八頁廿四場の少女悲劇 雜誌界空前)佐藤紅綠氏新作 本社寫眞部撮影
□讀書に倦みて(オフセット版)……中澤偉吉氏筆
□兄と妹(小說)田村俊子女史
□雛子(小說)野上彌生女史
□小猫物語(小說)尾島菊子女史
□盛花のこしらへ方……記者
□無名島の少女(冒險小說)……泉節子女史
□面白い蜜柑のお料理……芙蓉生
□椿の島へ(少女對話)……みゆき女史
□唱ふる夕(少女詩)……しすゐ
□黑髮船長……石塚月亭
□面白き懸賞募集數種あり(誰でも應募出來る)
□二月號 □定價拾五錢 □郵稅壹錢五厘 □半年 郵稅共九拾錢 □壹年同壹圓七拾五錢 (全國書店にご注文あれ)
發行所 東京京橋淡路橋外 振替四千九百番 東京社



小五錢　大十錢
大阪住吉橋北詰
三木治助商店
電話西二〇〇四番

文學士 小原要逸先生著
人としての道
洋裝美本 實價六拾錢 送料八錢

人生をして成功せしめんとするには人として人の道を宜く守り宜く行はしめねばならぬ。必ずしも成功は自己にあり、不成功も人の運命ではない、諸君の成功不成功は自己の努力の如何に反映するものである。諸君よ人の道を守れ、而して猛進せよ、勇往邁進は力であり、人としての道は最後の勝利を得る所以である。(以下略)
東京市京橋區南紺屋町 振替東京一二〇七五

青年團文庫第一編
青年團文庫の必備書
月刊雜誌 青年團
第三回團員募集 新團員にして前納者には當用日記(一年分金六十錢)無代進呈 名限壹千
編輯顧問 文學博士井上哲次郎先生 幸田露伴先生
編輯主任 … 執筆者 …
大日本青年團本部

大阪株式

▲後場の商戰　…

▲晝の賣物　前場以來相場の保合居るにも關せず某店より賣ばれたる賣物は前後場を通じて小一萬石の大數に上れり市場の噂に依れば從來強氣一天張なりし同店も大阪の低迷き成行を眺めて賣に轉じたるもの…

後場　寄付 十一圓十七錢　止め 十一圓十四錢
塢　高値 十一圓十七錢　安値 十一圓十三錢
出來高 一萬六百五十石

實買取組高
一月限 二百石
二月限 四千石
三月限 二萬六千五百石

…驪富東方家人不在中同家の裏手の障子にマッチを以て放火したるに障子紙を燃し盡して脊に火移り將に大事に及ばんとしたるを發見したる…止めたり右につき犯人搜索中前記李泰鎬が面白半分の惡戲にて放火せしこと判明し所轄本町署に呼び出し嚴重に說諭を加へ泰鎬を監督せしめ居れりと

第三十七回帝國議會

貴族院（二十四日）

△豫算總會

貴族院豫算總會は二十四日午前十時三十分開會直に質問に入り目賀田男と石井外相間に單獨不講和加入樞密院諮詢手續に付き問答あり次いで

▽目賀田男 加藤海相は海軍計畫財源に就いては大藏大臣の言明を信ずと云へるが個人としてなるか大臣としてなるかと問ひたるに

▽加藤外相 當局としては財政當局の言を信ずるの外無し勿論個人としてなりと答辯し次で

▽河村讓三郎氏 は乃木伯爵家絶家に關する事實及び法律上の疑問如何と問ひたるに尾崎法相は詳細なる取調を爲し答辯す可と答へ次で

▽目賀田男 は明治四十五年貴族院に於て鐵道資金を協贊せし際他日廣軌と爲す可しとの希望を附し協贊せり然るに之に對し何等の説明無し又鐵道方針は確定し居るも首相の承諾を得ざれば答辯し難しとは其意を得ず政府は鐵道に就ては單に經費の協贊を得れば足れりとするやと詰問し

▽添田總裁 は廣軌調査員は朝野の名士を網羅し審議の上東京下關間は廣軌と爲す方針なるも其後數次の政變にて當局の更迭ありたる爲實行に至らず目下會議に附しあるを以て決定までは首相の許可無くしては答辯するを得ずと答へ正午休憩

午後一時三十分再開高木兼寛男より學制改革に關し長時間の質問あり高田文相之に答へ次いで又復石黒忠悳男より學制案に關し前同樣質問あり高田文相之に應答し之れにて質問を打切り豫算總會を終り二十五日より分科會に移すに決し四時三十分散會せり（東京特電）

◎政府軍叙州より退却す

某外交官の接受せる電報に據れば政府軍は叙州より退却し同地は今や雲南軍の占領する所となれり（北京特電）

◎瀘州亦危し

●成都領事よりの報道に據れば二十一日叙州は雲南軍の爲めに占領せられ●防備の爲め南下せし吳將軍より絶えて音信無きは雲南軍に通せる疑ひあり●尚ほ瀘州も次いで占領せらるゝ虞れありとて成都官民は大に狼狽し始めたりと（東京特電）

歐洲大戰亂

▲哥薩克兵獨軍を走らす

露都公報に曰く露軍はトルタム湖地方より急遽退却を開始せる獨軍の中央部を追擊し捕虜鹵獲兵器品其の他を鹵獲せり哥薩克兵はエルゼルム要塞附近に於て獨軍の後衞隊を攻擊し數百名を斬り殺し一千餘名を捕虜とし後衞隊の殘部をエルゼルムより逃走せしめたり（倫敦電報）

▲帆船四十隻擊沈さる

黒海に於ける露國驅逐艦はアナトリアの海岸に於て敵の帆船四十隻を擊沈せり（倫敦電報）

◎樞相首相の參内

時節柄頗る注意を惹く

大隈首相は二十四日午前十時十五分參内拜謁仰せ附けられ重要政務に就て種々伏奏し且つ御下問に奉答し同じく參内中の山縣樞相と別殿に於て會見内外重要政務に付き協議したるは時節柄頗る注意を惹けり（東京特電）

◎豺深夜少女を奪ひ去る

[illegible]母は單身室外に出さしめ庭内に於て用便中突然「[illegible]」と叫びたるに[illegible]再び悲鳴を發したるを以て直に附近の鮮人を呼集め手を盡して捜索した[illegible]出血甚しく大腸露出し眼も當てられざる慘狀にて死亡し居たり急報に[illegible]

◎救濟金御寄附

露國太公殿下には廿四日午後二時御使を京都市役所に差遣され貧民救濟の一助として金一千圓を御寄附あらせらるゝ旨御傳達ありたり（大阪特電）

◎教科書値上許可

近來紙價騰貴の結果中等教科書協會にては各教科書の一割値上げを文部省に請願中なりしが去る十五日許可を得たるを以て愈々來る一日より實行することに決せり（東京特電）

雜報

◎滿鐵と民間業

滿鐵は滿洲に於ける總ての有利事業を獨占し民間の企業之が爲に發達せずとの非難は從來往々世間の一部に唱へらるゝ所なるが滿洲一般の事業にして滿鐵自ら著手し能はざるは之を個人又は會社に經營せしめ滿鐵は其の援助をなし資金貸與其の他の方法を以て其の發達を助長せること營口の水電事業大連汽船吉林公司日滿貿易公司其他農業經營等數ふべきもの尠からざるに徵し其の一斑を推知し得べきも個人經營の事業補助には失敗を招けるもの寧ろ多きを占むるを以て中村總裁時代の滿鐵は附來之に對して頗る用心深き手段を執り容易に補助を與へず近來滿鐵に關する諸怨聲は此點より生ずるものなるが如し猶之と共に滿鐵は自ら創設し經營せる大連寺兒溝のベンチン式油房事業を昨冬鈴木商店に讓興し大連汽船會社もその組織を改めしめ更に今回中央試驗所において試驗せる大豆加工の化學的工藝品たる硬化油につき其の製造事業を民間資本家と相談の上一の民間事業として之が會社を興すことに決し目下その準備中なり聞く所によれば滿鐵今後の方針はタトヒ滿鐵に於て創意若くば企畫せしものも其の事業の性質により成べく之を民間事業となし滿鐵は之に對して資本其他種々の方法の下に之を援助する筈なりと右につき滿鐵の經營にかゝる電氣瓦斯事業も此の際之れを大連市の市營事業に移しては如何との議あるも此の事業は滿鐵においても餘り利益ある事業にあらざるを以て之を市營事業となすも收支相償はざるべく其の經營却つて困難を來たし需用者のためにも不便を感ぜしむる虞ありとの事にて其儘となり居れり（大連）

◎國外流離の黒山王室

先づ羅馬に到り＝停車場にて悲しき母子孫の對面＝終に政府と共に佛國に去る

黒山國王は從者と共に故國を去りて伊太利に入り二十日羅馬に到著せり伊國皇室にては王妃を宮廷に迎ふる豫定なりしも王妃は伊國民が黒墺媾和意見に關して黒山國を惡し樣に罵詈するを快しとせずして之に從はず一夜を停車場にて寢臺車内に過したるに王妃の實子たる伊國皇后は之を聞き翌朝三人の皇子を伴ひ停車場に自動車を驅り母子孫の悲しき對面を爲したるが軈て一時間半の後羅馬を發して佛國里昂に向ひたり尚は黒山國政府も同地に移れり（紐育電報）

◎哈爾賓邦人商工業

哈爾賓は留布暴落の爲め各貿易業者は殆んど生色なく唯だ藥業者のみは稍活氣あり過日日本某藥房は露國より醫藥繃帶材料等莫大の注文を受け殆んど之に應じ能はざるの情勢に在り去れど此間に在りて其他の商賣は一般に不振を極むるに反し獨り工業界は然らずして製粉製油業の如き頗る好景氣にて支那人中新に製粉會社及び製油會社を起したる者あり又染料は我内地に於ては獨逸輸入の杜絶せし爲騰貴十倍に昂騰せるが哈爾賓に於ても同一の影響を受け在品全く空乏なるを以て木村吉次郎氏は某露商と協同して一工場を創設し原料は同地に於て得られざる者は日露兩國より輸入する考案なりと

◎滿洲暖氣と農作

滿洲に於ける本年の寒氣は例年に無く緩和にして最早結氷期に入れるにも拘らず甚だ温暖にして異常の現象を呈せる折柄農作物に惡影響を及ぼす無きかを憂ふる者少からざるが此は杞憂に過ぎず氣温高ければ從つて地温も高く宿根作物は勿論春期蒔附の農作物にも好影響を與ふるものあり又内地に於て雪は豐作の徵なりと云ふは是亦採るに足らざる妄説なりなほ冬期の寒氣が作物の病蟲を死滅せしむる效果ある如く説く者あるも休眠狀態にある作物の病菌若しくは害蟲には寒氣は差したる效果あるものに非ず春夏の發生時期の天候こそ大影響を及ぼすものなれ、滿洲冬期の温暖なるが爲に好結果を來すものは果樹にして開花を良好ならしむ特に葡萄は蔓を地中に埋め置くものなれば地温の高低は影響大にして冬期低温の被害著しきものあり（大連）

◎泰川灌漑と米作

蒙利地に改良種の普及は好望也

平安北道龜城泰川に於ける東拓施設の水利事業は蒙利地二千餘町歩なるが其内少くも千餘町歩は本年より畓となす計畫にて既に毛細溝の掘鑿畦畔築造地均等進行中にして從來の玉蜀黍、高粱、粟、稗等の栽培を止め水稻の作付を始むることゝなれるが

▲試作勸誘 東拓會社にては耕種栽培竝改良の方法を著手當初に於て指導誘掖するは最も必要の事なりとし昨年より同地方に一部介在せし畓に於て早熟内地種の關山及び龜の尾等の試作を勸誘したるに始めは内地種は晩熟の恐れありとて作人等は容易に試作に應ぜざりしを以て種々懇切勸誘に努め生産物は成るべく高價に買取るの條件を付したるを以て作人は漸く土地の比較的瘠薄なる處に試作を承諾するに至れり

▲作人の了解 然るに收穫期に至り之を見るに其の熟期は在來種よりも寧ろ早く且つ收量も遙かに多大なるに喫驚し、殊に在來種は土地の肥瘠を問はず能く稔實するを以て作人等は在來種の同地方に最も適應せし改良種なるを確かめ、一面之を迎へ會社の栽培を大に歡迎するに至り、昨年收穫せしものは全部之を貯藏し種子用として買入を申込むも容易に之に應せさる位に作人の意嚮一變し會社は辛うじて普及用相當數量を買收し得し程なりと云ふ

▲會社の方針 會社は此地方に於て栽培したるもの其他沙里院方面にて栽培したるもの等を合せ既に改良種百廿石餘を準備し全部之を蒙利地に普及し不足の分は在來種中の優良なるものを貸付くる筈なりと始め會社は同地方には五箇年を以て全部に改良種を普及する計畫なりしが同地方の趨勢良好なるを以て三箇年に短縮する事となれり會社の調査に係る改良種と同地方在來種との比較左の如し

品種	芒の有無	熟期	一反步收量 最多	最少	平均	附近在來種反當收量	增收步合
關山	有	早熟九月卅日 晩熟十月廿日	三石五一	一、六〇	二、五九	一、九九	二割三
龜の尾	無	早熟十月十日 晩熟同廿二日	三、八六	一、六五	二、五〇	二、一〇	一、六
豐後	無	十月十七日	三、七八	二、五二	二、九〇	二、四〇	一、七

當地方在來種は早熟十月十日、晩熟十月二十日なり、在來種の籾摺步合は水稻産四割内外乾畓産三割なるを普通とするに改良種は步留五割七分の高きに上り作人は非常に喜び居れり、尚籾一石時價は改良種は一圓餘高價なるを以て增收と價格の上昇とを併せて計算すれば反當收入金額は在來種九圓三十七錢なるに比し關山は十四圓二十四錢、龜の尾は十四圓五十錢、豐後十六圓八十錢に當り在來種に比し反當關山は四圓八十七錢龜の尾五圓十三錢豐後七圓四十三錢の收益增加ある割合なり

◎最近鮮鐵運輸

朝鮮鐵道局一月中旬に於ける營業成績左の如し總て前年同期に比し好況なるは其對照表に據り明なり（總て增加）

	本年度	前年度同期比較
乘車人員	一二九、八四九	二六、六七二
小手荷物斤數	三三八、二六二	六八、五三七
貨物噸數	四四、七四七	一四、一七三
客車收入	一〇二、一一四	一三、一八〇
貨物收入	一一〇、三九四	二八、一五八
運輸收入	[illegible]	[illegible]
一日一哩平均	[illegible]	[illegible]

◎仁川一月大豆移出

十二月中仁川港の大豆移出は三十二萬三千十九圓にして前月に比し十九萬四千餘圓を增せり之れ價格の騰貴に連れ前月に引續き奧地よりの廻著は逐日增加し來り内地各方面より味噌醬油仕込原料としての注文終始絶えざりしに由る前年同月に比するに亦十四萬七千餘圓を增加せり之れ滿洲大豆の不作によるものなり相場は小締り氣味にて米價の割に引弛ます全月を通じて龍山物七圓三十錢見當を上下せり當地月末在庫は大豆六萬九千餘叺にして前月に比し七千餘叺を增加せり小豆は一千二百餘叺なり

◎高子爵逝去

中樞院顧問子爵高永喜氏は豫て腎臟病に罹り永らく療養中の處二十五日午前零時京城通洞三十五番地に於て逝く享年六十有八

◎仁川評議員當選者

既報の如く仁川商業會議所評議員選擧は二十四日午前十時より同會議所に於て執行されたり一般の有權者は新會議所設立の選擧にて日鮮人共に活氣を呈し定刻より續々として選擧場に詰めかけ午後二時頃よりは從來になき雜沓を來し豫定の四時に至り開票したるが投票總數は三百十八（内地人二百四十四票鮮人七十四票）其の結果左の諸氏當選したり

[illegible]十五點安保富藏▲廿四點平田松次郎▲十七點十八銀行支店▲十[illegible]點[illegible]六郎▲十四點[illegible]太郎▲十三點河野竹之助▲十二點[illegible]專一▲十三點米田明陽▲十二點[illegible]伊平▲九點富山源三郎▲十一點大阪[illegible]▲七點[illegible]三▲八點米豆取引所▲九點[illegible]七郎▲七點末永吉二▲八點川中[illegible]川邊三次▲七點藤木利右衛門▲七點[illegible]▲六點共同鄭船會社支店▲六點加來榮太郎▲六點商船會社支店▲六點沈能德▲六點權應三▲五點村谷吉藏▲五點川井田彌二郎▲五點稻田勝彦▲五點金文和▲四點高津靜二

◎電話料金徵收狀況

京城郵便局に於ける電話料金徵收狀況を聞くに現在加入總數普通加入二千五百零二長距離加入三百九十一專用加入七他に自動電話二十箇所等なるが是が一箇年間の收入は廿三萬圓に達するものなり而して料金納期每に滯納處分として通話停止せらるゝもの百五十以上二百に達し本年度第四期納金告知書は既に夫々配布せられ本日〆切の豫定なるが第三期には督促通牒約五百戸に達せるも今期は四百餘戸にて多少例年より好成績の方なるも結局又も約二百戸の通話停止を見るに至らんかと而して通話停止處分の如きは同局として可成的執らざる方針なるも整理上止を得ざる處分にして又之を行ふには頗る面倒を伴ふものにして先づ八臺の交換機の同番號を閉鎖するものなれども之に對し各所より頻々たる電話ある毎に一々停止を知らしむる等極て手數を要するものなりと

◎京城商議總會

一月十八日の京城商業會議所定期總會に於て七名の委員附託となりたる大正五年度豫算案は十九日委員會を開き附議し二十五日頃再び本會議を開き委員會の結果を報告する筈なりしが來る二十九日頃本會議を開催することゝなれり

◎銀行券發行週報

一月十六日より二十二日に至る一週間の銀行券總發行平均高は三千四十四萬六千三十四圓にして其内正貨準備發行平均高一千二百二十三萬五千六百十一圓保證準備發行平均高一千八百二十一萬四百二十三圓なり

◎釜山穀物市場決算

釜山穀物市場にては二十日定期總會開會大正四年度の收支決算を議決せり損益計算左の如し

當期收入金	一三、五二〇、三九〇
前期繰越金	四六、一三五
合計	一三、二六六、四八〇
内 當期諸經費	七、七九七、〇一〇
當期剩餘金	五、八三九、四七〇

分配左の如し

家屋消却積立金	一、四四八、八二〇
賞與金	五二〇、〇〇〇
割戻金	一、六七九、〇八〇
後期繰越金	二、一九一、五〇〇

人事消息

▲齊藤芳太郎氏（[illegible]） 二十四日入京巴城館投宿

▲中村莫吉氏（朝銀主事） 同上不知火投宿

◎電車に跳飛さる

二十三日午後八時過京城電氣會社の百一號電車[illegible]龍山方面より鍾路に向け[illegible]り鍾路署より警官出張同社員と共[illegible]箇所の擦過傷を受け同人は此際酩酊し居り負傷したるよし人事不省に陷[illegible]

[illegible]野菜[illegible]より物品の入質方を依頼せられたる際金五圓を詐取し尚十一月中に黃金町三丁目の田原某より大皮膝[illegible]

洪濱錄（三五）京畿道金浦郡[illegible]内面生れ金大準（三二）の兩名は共謀し[illegible]一月九日午前三時頃牛庖丁を携へ漢鏡北洞の羅姓女方に侵入し[illegible]

◎主犯嫌疑者捕縛さる

共犯者檢擧參考人召喚

爆彈事件に付き警視廳にては二十二日夜來大活動を開始したるが右は爆彈の出所並に製造人の判明せる爲めにて二十三日朝までに十三名を引致し同日午後一時頃に至り主犯者と思しき無賴漢清次と呼ぶを取押へ嚴重取調中なるが同人は下手人下村馬太郎とは懇意の間なりといふ尚ほ警視廳にては共犯者並に參考人として藥劑師佐々木榮次郎藥種商上原寬治を召喚し取調中なり（東京特電）

京日案內

◎普通 一回前金三十錢（無割引） 壹名一回每に金五錢增

◎番外 一回前金六十錢（無割引） 壹名一回每に金五錢增

◎外交員採用 月給拾五圓以上希望者履歷書携帶本人來談 ○京城花園町一一二二 ▲帝國圖書普及會支部 249

◎金融 信用貸は官吏教員限り普通は擔保品を要す 新龍山漢江通一一 伊藤 293

▲貸金 官吏に對しては特に安歩にて秘密に御用立致します 京城黃金町三ノ三四四 電話一壹八一 士岐 292

◎外交員募集す 希望者至急來談 京城太平通二丁目壹番地 諸物價京城通信所 電話一四〇三番 286

◎寫眞技師及市内地方外交員募集 要保證人希望者は履歷書携帶あれ 京城大和町一ノ四八 朝鮮寫眞通信社 283

◎高級社員外勤參名募集 某保險會社招聘 ○資格廿五歲以上の體面的紳士○履歷書携帶面會午前中 ○京城明治町三丁目不二屋内△松本 290

◎簿記係一名入用 希望者履歷書携帶來談あれ但し保證人二名を要す ◎仁川 力武精米所 287

キャラメルは…藤商會の（割引券附）人蔘キャラメル……に限る……本品は至る所の食料品店菓子店に販賣し居れり 291

◎給仕至急入用 年齡十四五歲小學校卒業の者希望者履歷書持參本人來れ 京城本町三の二（電話一三六四番）木村商會 288

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館坂の上 電話三〇二番 243

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二八三番 國江商會 225

恩給 年金退隱料扶助料 即時立替 當分法定利子以内にて地方者便法有 京城永樂町一丁目四四商品陳列館前 無手數無契約 有期 江州屋 本店 219

恩給 年金類低利長期立換短期 無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候 ○京城南大門外御成町 山口屋 224

▲靴 卸小賣大勉強並に修理 堅牢優美且價格大廉 目錄定價表 寸法用法御一報次第進呈 京城壽町廿 電話七〇九 エビス屋靴店 231

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話六三九番 232

公證人 京城永樂町二丁目十七番地 山邊勇輔 電話二八四〇番 244

開業質及金貸 秘密確守し返金の誠意有方に對しては特に低利御相談に應ず 京城永樂町一丁目商品陳列館前横入 秦質店 260

恩給 即時立替低利手數料極安 方遞信取引債務附證書引受 京城若草町百六番地電話二二六三番 勸業貯蓄債券 御不用分高價買受 西村商會 259

結核の注射 淋疾の注射 古賀液及 （入院隨意） 京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 261

◎社員 女教師 養成年齡廿歲以上履歷書携帶本人來談 ○京城黃金町二丁目 シンガー會社 京城支店 270

大生鰻 洋食向 普通鰻（賣子募集） 卸問屋 京城旭町二丁目 電話一五六七番 三友商會 278

和洋御料理壽司 儀式並精進料理仕出し 京城本町一丁目府廳横（元楠跡） のんき 電話二四九五番 ▲材料精撰○御申付次第速達仕候 279

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ學齡兒童ノ始期ニ達スルニヨリ其ノ保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日

朝鮮總督府京城府尹 金谷充

第九回決算報告（大正四年度）

貸借對照表

資産之部

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
地所	[illegible]
建物	[illegible]
牛	[illegible]
商品	[illegible]
預ケ金	[illegible]
立替金	[illegible]
未完勘定	[illegible]
什器	[illegible]
損失金	[illegible]
金銀	[illegible]
開業費	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

科目	金額
株金	[illegible]
積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
借入金	[illegible]
合計	[illegible]

損金勘定

一金壹萬九百七拾四圓七拾壹錢貳厘 當期總損金

内 一金參百貳拾五圓五拾五錢七厘 當期總益金

差引 一金壹萬六百四拾九圓拾五錢五厘 當期純損金

外ニ 一金參萬壹千壹百拾圓七拾貳錢貳厘 前期繰越損金

合計 金四萬壹千七百五拾九圓八拾七錢 後期繰越損金

右之通ニ候也

大正四年壹月

朝鮮京城府古市町參拾七番地 朝鮮畜産株式會社

專務取締役 北原利男

取締役 阪東國八

取締役 河島乾一

取締役 織居加六

監査役 高橋千代吉

監査役 土肥喜男

右調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也

追テ任期滿了ノ取締役及監査役改選ノ結果總テ重任ト決シ候

山東 關東 青島 鹽 原鹽 再製 粉碎 各販種賣

仁山濱町八 鹽販賣所 電話二四〇

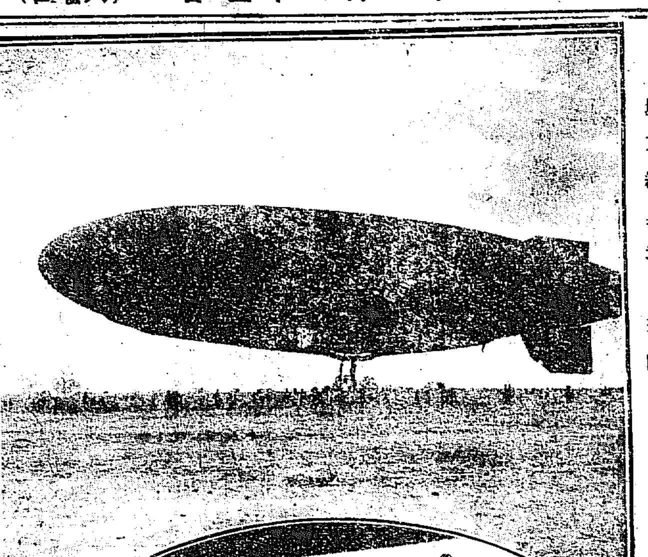
[illegible]山洞一統一月李六月私生女子鑑運伊（八）は母李六月と共に一室に就寝中午前五時頃便通を催し母に告げたる[illegible]を尋ねる由なく徒らに氣を揉み狼狽し居たりしが程經て一丁餘を隔てたらんと思はるゝ南方より[illegible]の山中に於て死體を發見し取調べたるに無惨にも頭部三個所咽喉部に二個所腹部に二個所の重傷を負ひ[illegible]

●教會費を横領　京城唐珠洞全王唐（五二）は堅志洞所在侍天教本敎[illegible]（三六）も共に鍾路署に於て取調べの上檢事局へ送らる

[illegible]の鮮人男鍾路を通行し居れる爲救助網に跳ね飛ばされ線路外に仰向に打倒れた額部其他に數[illegible]

●横領して入營[illegible]杵那商濱村當時京城若草町居内田國次（三二）は昨年七月中黄金町三丁目小[illegible]れたり

●二人組の強盜　京城橋北洞[illegible]も兩三回窃盜を働きたる曲者にて何れも檢事局に送らる



城東練兵場に着陸せんとする雄飛號

●太公兵器廠御觀覽
更に大阪天守臺に御登臨

御入洛中なる露太公殿下には御豫定の如く二十三日午後三時隨員並に寺内總督以下接伴員一同を伴はせられ京阪電鐵の貴賓電車にて御來阪

▲大阪砲兵工廠に成らせられたり當日天滿橋停留所には先著の接伴員及び大島陸軍次官を始めとして仁田原第四師團長、砲兵工廠提理村岡中將、大久保知事、大阪衛戍各部隊長並に將校、將校婦人會員、愛國婦人會員、赤十字社員、府市名譽職員、各學校職員生徒等多數整列し奉迎をなす、殿下には御召車の停車するや太田常務取締役の御先導を受けさせられて御下車あり御出迎の仁田原師團長等と握手したまふ、夫れより自動車に召され御順路を大阪砲兵工廠に成らせらる、工廠にては提理室本部樓上にて暫時御休憩あらせられ軈て村岡提理仁田原師團長の御案内にて工場に入らせられ

▲兵器製作實況を親しく御覽せらる、殊に昨今は露國よりの注文に依り砲彈其他各種兵器類を製作なし居ることゝて提理より其の實況に付き詳細に説明申し上ぐれば最と御滿足ありたる由承はりぬ斯くて再度本部樓上に成らせられ御休憩相成れば村岡提理は工廠よりの獻上品たる鍍爽製の花瓶並に隨員一同に夫れ〳〵の御土産品を贈呈す、また殿下には

▲工廠の功勞者たる提理以下職工に至るまで約四百名に對し夫れ〳〵御土産品の御下賜ありたり軈て時間の切迫により殿下には再び自動車に召され大阪城内天守臺に登臨あらせられ大阪市街の全景を御覽せらる仁田原師團長は詳細に説明申上其より偕行社に入らせられ御休憩、仁田原師團長は大阪衛戍司令官の資格を以て茶菓の御饗を申し上げ偕食堂には住友、鴻池、藤田其の他市内名士の秘藏に掛る古美術品を陳列し台覽に供し奉り夕刻再び京阪電車にて御歸洛あらせられたるが當日大阪市よりは梨地四季山水蒔繪料紙文庫外三品を御土産として殿下に獻上せり（大阪特電）

●溫突の補褥蒲團の上に大胡坐で
スタール博士のお土産談
印象に殘つたは何々ぞ

奉天の喇嘛塔＝安州の七星島＝平壤の婦人笠＝開城の高麗燒＝書の巧みな少年＝面白い謎、給仕じ

去る十四日以來奉天から北鮮地方の旅行中であつたスタール博士は二十四日の午前七時三十分南大門驛に著いた、お宿は例の山本旅館日本室かと思ひの外這回は純朝鮮式の氣分を味はひたいとあつて同行の喜多入前楓君と共に飄然鍾路の大華館に入る宿では珍客御參なれと許り邸の裏手に日當りよき温突室に案内すれば博士は殊の外の御滿足で正面に立てられた金色の錦繍屏風を背負ひながら綴子の

補褥蒲團の上にどつかと許り胡坐を

かく、そして毎日の如く机の上に原稿紙を展げてサッサと萬年筆を走らせる元氣は全く若い者が裸足である博士は又日本の胸側に當る四角な四方枕や長枕の綴子の模様を眺めながら『拙者はまだ朝鮮宿の經驗に乏しいので此の家なども非常に珍らしいが温突と來ては此の前朝鮮のお寺に泊つた時の外兩三回しか經驗が無い』と毎時の通りニコ〳〵もの『這回の旅行ではかなり寒い日にも遭つて來たが各地共多大の御歡待を受けたのは有難く思ふ、別けて奉天の日本領事館を始め新義州、義州では晩餐會の御招待を受けた事を感謝して居る、自分の研究としては例により各地の風俗習慣等を調べて來たが奉天では

特に喇嘛塔に就て興味を有つて調べ

て見て、就中何が最も面白かつたと問はれるなれば拙者は安州の七星島を擧げたい、これは、廣い大きな池の中に北斗七星に擬らへた島を作つて居るのを面白いと思つた、次ぎは平壤で見付けたサッカッと稱する婦人の笠も面白いと思つた、又開城では高麗燒に多大の趣味を有つた次第である、殊に彼處の小ぽけな朝鮮塾の生徒の中に非常な書道に長けた少年が居たのは感心の至りであつた、元來開城と云ふ土地は高麗朝の舊都としても又古い習慣などに就いても興味が多く將來永久に保存したき土地である……其の他朝鮮の謎（ス、ケツキ）に就ては這回の旅行に又千種許り蒐集し得た積りだが或は此の以前集めたものと重複して居るかも知れない、又

朝鮮の縮判じに就ても多大の興味を

有つて居るがこれが果して何處から來たかといふことは未だ疑問である自分が前後八年間調べて見た日本の縮判じは昔し和蘭から傳來したことが確かであると思ふが朝鮮のは日本內地のものよりもズツと古く或は支那に連絡があるか又は全く獨立したものか却々面白い研究である、自分のこれからの旅程は未だ定つて居ない、先日のやうな好天氣が續けば江原道の金剛山も見たいと思ふ』猶ほ博士の温突の隙室には大きな平壤の婦人笠、砧の棒、朝鮮木履、笠子など種々な道具がゴロ〳〵と積まれてあつた

●太公殿下住吉御成

二十四日朝京都に於ける御大典式場を拜觀されたる露太公殿下は午後四時廿五分寺内接伴員等を隨へ住吉驛下車富豪久原房之助氏邸に入り晩餐を召し盛興を恣にせられ同九時三十分同邸を御歸還あらせられたるが二十五日は奈良を御見物遊ばさる由（大阪特電）

●本社の相撲懸賞發表
意外の盛況＝應募者一萬七千餘＝適中者百四十六名＝已むなく抽籤

東京大相撲は愈二十三日を以て千秋樂を告げた、之より先き吾社が賞を懸けて募集した本場所好取組の勝負豫想は意外の盛況で十五日の締切までに集まるもの一萬七千五百二十三通その内無効百三通を除いて當に一萬七千四百二十通に達し此上篤めに容隙を見ざる程だつた好取組十組の內朝汐伊勢ノ濱の休場源氏山對千年川の取組なきため殘る六組を悉く適中したる者百四十六名、制規の入賞者五十六名を超過したため已むを得ず抽籤する事とし編輯局員立會ひ抽籤の結果別項の如き發表を見るに至つたのである、大錦三分預分一分、對馬洋玉手山四分五厘、預分五厘、鳳六分、對馬洋玉手山は對[illegible]四分五厘、預分五厘、栃木山に大蛇潟は全くの五分五分、兩國に大鳴門は兩六分大鳴門四分、釋迦ケ嶽に金の花は金六分釋迦四分、宇都宮に黒瀬川は五分五分になつて居たのである、然して鳳、對馬洋、釋迦ケ嶽、宇都宮の六組の勝を當てた入賞者に對しては近日中に賞品を發送すべく但し京龍市中の方は本人又は代人の方に受取りに來て戴きたいとの事である

△一等（無双銀側懐中時計進呈）
京城南大門通り三丁目新井藥房内　川野鐵之助

△二等（上等絹織物一反宛）
仁川仲町二丁目エッチ、アイ商會方　堀川潔
元山府遊廓道官舍　田代才八

△三等（上等置時計一個宛）
京城本町京城銀行内　佐野佐六
京城黃金町高華堂内　おくに
京城鐘路齋藤商店内　齋賀博

△四等（上等卷煙草一ボール宛）
京城旭町一ノ七六市見よね、京城南大門通漢城農工銀行内吉見新一、龍山鐵道官舍八十九の二北村一、京城府漢江通十三肥後屋内佐藤みつ、木浦商業會議所內寺本金松、仁川郵便局保網小正坂主一郎、新義州常盤町八橋江方奈良次郎、土地調査局會計係中岡光彥、京城鐵道官舍二の一鎌田竹作、忠州郡廳内邑新田治哉、平安北道鐵山郡大石久、支那安東縣市場通六[illegible]、鐵嶺支店小澤愛山、金泉旭町中山文治、[illegible]府原野方金大福、[illegible]府富平町二八一の一井上西成、黄海道[illegible]、平南[illegible]井規石、京城大和町三ノ三九遞信局官舍佐々木[illegible]、京城永樂町二[illegible]芳男、京城本町一ノ[illegible]呉服店すなみ（二十人）

△五等（日用品化粧品入籠袋）
黄海道海州郡[illegible]野八郎平、大邱錦町森田旅館方井上富造、釜山[illegible]商會伊東良一、全北[illegible]田中正德、鳥致院[illegible]、元山旭町二ノ伊藤直利、平安北道宣川金山前田孫作[illegible]（三十人）

●孝子墓畔に燒殺さる
愛兒三名も亦た同じ枕に斃る

忠南論山郡可也谷面斗月里葉細工業白光執（五二）方に一月十二日午後八時頃二名の覆面鮮人強盜押入り家族四名を慘殺したる椿事あり、被害者光執は斗月里の共同墓地に小屋掛をなし居住し居れる者なるが同日一名の賊は屋外に立ち一名は室内に侵入し庖丁を以て白に斬りつけ頭部に創傷を負はせたり此時屋外にありたる賊は小屋の屋根に放火して立去り[illegible]の賊は逃走の際外部より戸締を施して立去りたるより白光執及長男東俊（十二）二男東業（七）長女今順（二）の四名は無慘に燒死し三男東春（三）のみ幸うじて逃げ出でたり被害者白光執は平素孝心深き善人にて母の死亡後其墓地附近に小屋掛をなし四人の子供と共に侍墓して葉細工を爲し貧しき生活をなし居たるが附近洞民は同人の志に同情し幾分宛醵金して同人に寄與せんものと既に五十圓許り集まり該金は同面城德里羅守學なるものゝ手に保管中にて未だ同人に交付するに至らざりしを賊は右の金員既に同人の手に入りたるものと誤信し右の如き兇行に及びたるものゝ如く目下所轄江景憲兵分遣所にては犯人嚴探中なり

●雄飛號の解體
又復機械に故障

大阪に著した雄飛號は機械に故障を生じたる爲め金澤飛行隊長以下二十五日朝汽車にて歸東に決したり（大阪特電）

●寒中行軍

龍山駐劄の步兵第三十五聯隊では各中隊からの三年兵を以て臨時に一箇中隊を編成し廿四日から廿八日迄五日間寒中行軍を爲し寒中兵士の耐抗力其他に就て試驗的演習を爲す筈であつたが露太公殿下御入京の都合で來月五日から九日迄に延期することとなつた指揮官は第十中隊長月井大尉、大立目聯隊長も同行する筈である

●京城分監新年宴會

京城分監では二十四日午後一時より白水に新年宴會を催し同監の關係者を招待したるが開宴に先ち昨[illegible]

[illegible]年中の成績優良藝妓十名に對し簞笥、中簞笥、鏡臺三味線箱、座布團の賞品を授與したり表彰を受けたる藝妓左の如し
花奴（花房）寶家（いそべ）小蝶（惠比須家）寶聲（花房）千代（寶美の家）十芳（しづ家）百吉（寶巳家）文子（寶美の家）千代香（同上）玉子（丸家）

▲二三輪寶一行
久方振の新派劇大一座來れり

自然劇團『靑年新進の腕揃ひ』一座は七年振りに渡鮮し三輪寶獨特の觀眼深き脚本を撰び上場す陸續御來觀あらん事を
新龍山三角公園前　電話六四八番　佐久良座

●南大門外有志新年會　昨紙所報の南大門外有志新年會は日時を變更して二十五日午後六時より開催す可し

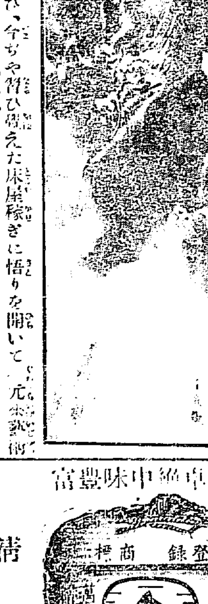
●淨土宗婦人會　本町三丁目淨土宗開教院にては廿五日午後二時より婦人會開催、老師の法話あり

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手贈呈）

○物はつけ　課題『冷たいものは』
○臺所で辨當（一等）　南米倉町　積木正雄
○頭に雪　京城　玄祥子
○小僧の手　仁川中手町　中村秋子
○侵入の夢　南大門局　巴字逸
○朝の餘　京城　うつゝ
○建設の場　南大門　巴字逸
次回課題『熱いもの』は〆切廿九日

京城奇人傳
藝術で飯は喰はぬ
剃刀片手に氣焔を上げる吉備床主人

繪描き床屋の脇本半湖君は明治町二丁目佛蘭西教會堂下手のむかし稱んだ階町通り吉備床の主人である、君は本職の床屋よりも活花が巧く、活花よりも俳句が巧く、俳句よりも日本畫が巧いといふので始末に終へぬ郷里は岡山縣の倉敷『これでも先祖は太閤さんの高松城水攻めに功名あり特に脇本の姓を戴いたのです……』と大に苗字の勿體を附ける、誰れでも繪を一枚戴けまいかと所望すると君は可愛らしい妹を呼んで『おい、あの抽斗の裡の畫鼠でも雀でも氣にいつたらいゝを卓上げい』と許り絹地に描いた丹精の繪を惜氣も無しに呉れて了ふ、而して落款には必ず『金額』と記して居るから何うして幾つも名前があるかと訊くと『内地では半湖の名前で私の道樂濟を賣つて居りますから……』と笑ふ、京城に來たのは今から三年以前、其の前は滿洲で大きな金儲けをやりかけたは好いが全然元も



子も無くして了ひ、今ぢや習ひ得えた床屋稼ぎに悟りを開いて『元來藝術なるものはこれを以て飯代に稼ぐべきもんぢやあございませんからな……』と許り腮を撫で毎月一回十七日の休業日を待ち兼ねて嗜きな丹青に親しんでござる、君の師匠は岡山で有名な矢部楳山翁『これでも親が富裕で居ると私も本職の畫家になつたかも知れません』と云ひながら今年三十七歲の諧髯をひねる、因に昨秋の共進會にも近所の者に勸められて『破間一閃』と題する達摩の一幅を出品したが氣に喰はぬから賣品には爲なかつたといふ

謝火災御見舞
昨曉火災の際は早速御馳付被下消防は素より御見舞を辱ふし有難奉深謝候混雜中に取紛れ御尊名伺漏も難計乍略儀不取敢以紙上御禮申上候
新龍山漢江通十三番地　材木商　櫻井藤吉（電話五七番）

謝近火御見舞
近火の際は早速御馳付御見舞を辱ふし奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈の處混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀紙上以て御禮申上候
尙住宅に加へ創庫全燒致候得共皆樣の御盡力に依り直樣西隣同十三番地に引移り從來通り營業致候
新龍山漢口通十三番地　菱川組事務所（電話四〇四番）

謝近火御見舞
龍山水產株式會社

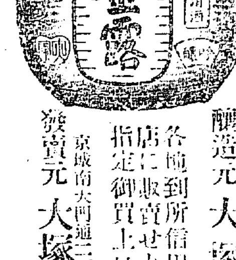
謝近火御見舞
近火の際は早速御馳付被下見舞を辱ふし奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈の處取込中尊名伺洩も難計不取敢紙上にて御禮申上候
新龍山漢江通十三番地　藥 食料品 雜貨 商　山田商店 事 山田利吉（電話五二七番）

謝近火御見舞
新龍山漢江通十三番地　藤田藤次郎

謝近火御見舞
新龍山漢江通十三番地　鮮魚商　柴内金藏

謝近火御見舞
新龍山漢江通十三番地　美髮館　一條長松

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢四厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番 五八四番　振替貯金口座京城八一一四番
同　龍山出張所　龍山旭町　電話一〇八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

品質卓絶中味豊富
清酒


攝津灘魚崎　釀造元　大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通三丁目　發賣元　大塚京城支店　電話四〇一番　振替口座五七〇一番

診察時間
初診の御方は可成午前中　自午前九時　至午後六時
京城長谷川町二丁目（西鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

千生瓢 (107)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長蛇を逸す（三）

清正は殊死して戰ふ原が手に騙け向つて、思ひのまゝに勝利を擧げ、槍下に得た大將分の兜首ばかりも、既に十一となつたのである。清正この時馬の手綱を控へて、

『儀太夫、何うぢや、まだ指物は持てるか』と尋ねた。

『殿、見させられ、首の重みで大竹が靡びまする。動もすると折れさうで迚も持ち切れませぬ』

『附ちやらうの。十一の首級の重量には、孟宗とても堪へまいよ』

『さて此指物、何となされまする。此上はもう一つの首級も繋ぐことは能きませぬが』

『備ぢや、それは其まゝ本陣に送つて、首實檢に供へようよ。儀太夫、代りの指物伐つて參れ』

『心得まいた。究竟なのを伐つて參じまする』

儀太夫は興ある事に覺えて、以前の生首を使者に渡すと、直にまた篁藪へ跳り込んだ。やがて青竹に繫がれた首級、秀吉の本陣に到著して、直に秀吉の面前に披露せられた。

秀吉はその指物を一見して『虎めが、虎めが』と言つて、哄然とうち笑つた

大垣を出る時、生笹の指物を所望したが、却つて敵の目標となるに因つて、固く之を許さなんだが、今曉も之を用ひて首級二つ附け、今また大きな竹を伐つて、而も十一の首級を附けた。剛情我慢の擧動は憎いとも思ふが、水際立つた武者振の程を思ふと、可愛い奴ぢや。うむ、出來し居つたわ』

秀吉は滿面に笑みを湛へて、首の使者を呼出した。

『其方罷り歸つて虎之助にきつと申せ。從附の首級慥かに實驗致いた。此上は生笹の指物、差許すに依つて勝手次第相用ひよと、喃』

『はツ』

『追ての注進相待つぞ。使太儀』と鷹揚に申し渡した。

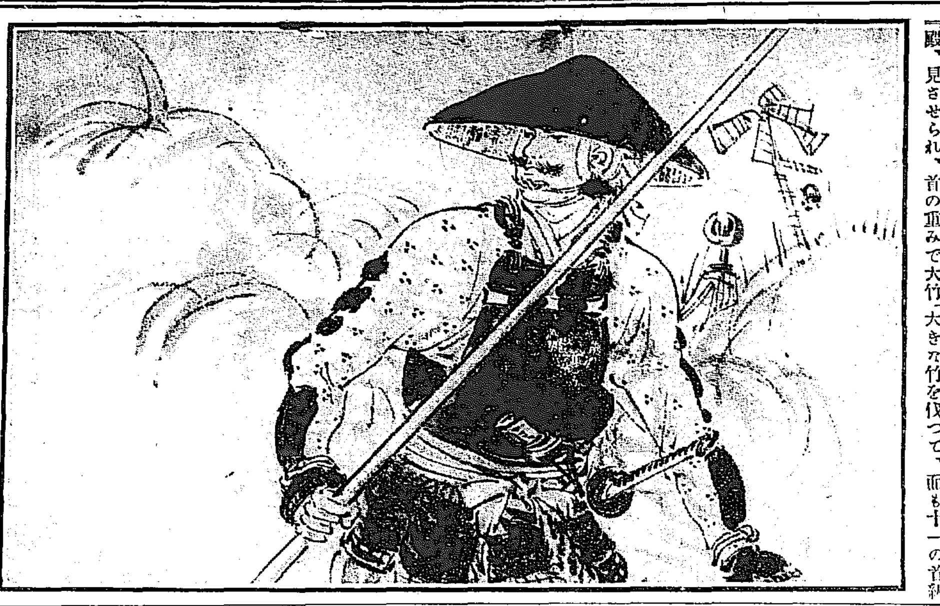
清正今は公けに生笹の指物を許されて、勇氣また一層に加はり、踴躍して敵に當り、追ひ迫つて攻首を取り、或は突き伏せ、突き倒し、阿修羅王の暴れたる如く、縱橫無盡に戰うたが、此時日既に高くさし昇つて卯月の天の晴れわたり、日光美しく指物の笹に映し添ひて、七尺有餘の巨漢、何處よりも人の視聽を聳かしたので、誰寄り來る敵はなく、皆其鋭鋒を避くるのであつた。

此有樣に清正は全く無敵の一人武者となつたのを悲しんだ。好き敵と見て馳せ寄れば、風を見てはやく逃げ走られ。敵陣に紛れ入らうにも、見識られて道を開かれ、今は雜兵の首一つでも、指物に繋ぐことのならぬので、矢庭に一人の足輕を呼び寄せて、其番具足を剝ぎ取つた。而て指物は森本儀太夫に授け。兜は木村又藏に預けて、陣笠に身を忍び、是れにてあつぱれ敵を欺き、陣中深く紛れ入らうと心掛けたが、人に超えたる大兵だけに、兎角に人の目を惹くのであつた。

柴田三左衛門尉勝政の備は、玄蕃允と遙かに引き離れて、後陣より進んで居たが、

『乃公は伯父に養はれて、柴田の姓を名乘つて居るが、玄蕃允の舍弟といふ事は、敵も味方も知らぬ者はない、今日の敗軍、因緣は種々あらうとも、兄玄蕃允が先手の大將軍として、中入の戰ひに勝利を得、氣驕つて機を誤つたゆゑとは、敵も味方も一圖に思ふ所であらう。此恥辱あればこそ、兄玄蕃允は一命を輕んじて敵の本陣に切り込うと心掛ける。乃公も其弟ぢや、今玆で花々しく勇戰して屍を敵陣に横へねば、何時兄弟の恥辱が雪がれよう。さうぢや、玆が乃公の死ぬ場所ぢや』

勝政は斯う意に思ひ決めた。味方の勢を纏めて見ると、討ち殘された勇士三百騎には餘つてゐた。直樣之れを三段に備へて、勝誇つた上方勢の眞只中へ、面も觸らず切り込だ



新刊紹介

▲能樂百物語（横井春野著）德永猿樂以來今日に到る五百有餘年間能樂にたづさはる人々の逸話の中比較的興味深いものを集めて本篇成る（定價金廿五錢東京市牛込區早稻田鶴卷町文彰堂書店）

▲明智光秀（武田鶯天子著）著者一流の明快な筆致を以て不運児光秀が主殺しの汚名を着ねばならなかつた仔細を記す正に一讀の價なしとせず（定價金六十錢東京市本郷區駒込坂下町四八讀談社）

▲保險新聞（六の一）定價金九錢東京市神田區神保町八北社

▲圍碁虎の卷（四の一）定價金十八錢東京市芝白金三光町四六二番の日本社

▲海友（六九）定價金十五錢大連市寺町通り丁目大連海務協會

◎講談落語『娛樂世界』近頃益々發展し讀物の新しく面白き點に於て常に講談通を喜ばす本誌は二月號に於て愈其勉強振りを示し新判本文二百四十頁金二十錢と云ふ價なれば又々廣切れの盛況を見るならん

ひぜん 妙藥 芳香 ひぜん水 十二錢 廿五錢 五十錢
大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製
各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井也翻譯 定價金一圓 郵稅金十錢 京城日報代理部 振替貯金京城三〇

タンセキ改良劑
本劑は最新高貴の袪痰鎭咳の特効劑を配伍せるを以て、如何に重き呼吸器病にても一週間程試みよ！タンを袪りセキを鎭め喘ぎ苦しきを和らげ安眠の効を奏す
呼吸器散 呼吸器丸
かゝる人に偉効あり
■息苦しく胸痛む人、■咳出で眠られぬ人、■たんに血の交る人、■聲潤れ出でざる人、■のんど腫れ痛む人、■たんせき切れ難き人
價 十錢、二十錢、四十五錢
大阪 東京 本舖 丹平商會藥房 全國到る處に販賣す

りんびょう ばいどく 豫防品 ルーデサック卸小賣
京城南大門外停車場通ドラッグ商會滿鮮本部 電話二五六七 振替四六七

醫化學諸器械一式
仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七
京城本町 永樂町角 北島藥店支店 電話七六一番
藥種賣藥卸商

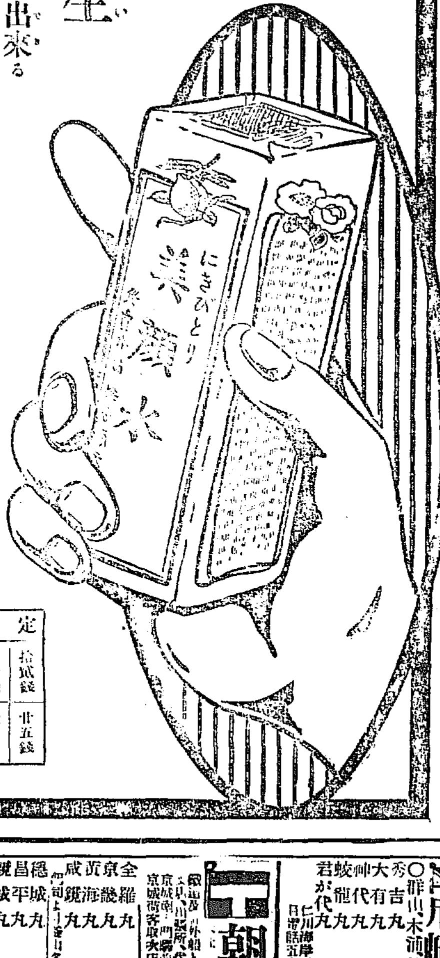
朝鮮總督府警務總監部御檢定濟
花柳病專門藥
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り有効なる諸種の新藥を主劑とし健胃の良劑を配合したるを以て花柳病疾患に服用し安全に治療の目的を達し得る最新良劑也詳細は説明書御來店あれ遠方は御照會次第回答す
價 梅毒一週間分 普通金壹圓 特製金貳圓
京城府永樂町二丁目（赤門筋交番北） 登錄商號 東京ドラッグ商會本部
滿鮮製劑本舖東京澁谷東京ドラッグ商會

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、蕈、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城一一二番

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

模範牛乳 純粹培養ヨーグルト
場主獸醫肥塚正太 京城遠進町四 東亞牧場 （電話五二番）

ニキビとり 藥用美顔水
青年男女 皮膚の衛生
△ニキビは斯して出來る
一體人の皮膚は何も多少其脂氣があつてすべくしてゐますが、是は皮膜といふ細い管から皮脂を吹出してゐるからです。併し物は兎角一利一害で、此皮脂の吹出力が餘り多過ぎると、皮脂は皮膜の口を塞ぎ、痛痒い腫な感じを起させ、終に醜いニキビと成るのですが男女とも青春の頃は此皮脂が多い爲ニキビも亦多く、其れを捨てておくと、瘢痕即ちニキビの塊となり、如何にも見苦しく全然容貌の美を毀して終ひますから、若しニキビが生たら、桃谷順天館主の創製で其後も丹波田本二博士が多年研究、最近に博士始め數人の藥學士が技師となつてゐる桃谷研究試驗部の研究で一層効力が加はり、今の世に是以上進んだニキビ藥は無いと言はれてゐる藥用ニキビとり美顔水を直ぐ用ひるのが一番有効な方法です。尚此藥を常用すれば、色を白くし肌理を細にし艶澤々となり、素質の美しさを増し、尚又蚤や蚊や南京虫に螫された時塗ければ毒を防ぎ、皮膚氣持よく、跡が腫物等になりません
定價 拾貳錢 廿五錢 五拾錢 壹圓
▲各藥店化粧品小間物店にあり
東京 大阪 桃谷順天館
改正3575.109



日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行
横濱丸 一月廿八日 正午出帆
竹島丸 二月四日 正午出帆
高砂丸 二月十一日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
汕頭丸 二月五日
大智丸 一月廿六日 午後五時出帆
平壤丸 二月十日
○木浦、釜山、長崎行
安東丸 一月廿五日 午後二時出帆
城津丸 一月卅一日
大連行
安東丸 二月五日 午後二時出帆
城津丸 一月廿八日
群山、神戶、大阪行
大智丸 二月三日 後五時出帆
群山、釜山、鎭南浦行
チヨイサン丸 二月七日 午後四時出帆
潮州丸 一月廿九日
大連直行
潮州丸 一月廿五日 正午出帆
チヨイサン丸 二月三日
清津、浦潮行（元山出帆）
久丸 一月廿八日 午後二時出帆
北丸 二月八日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
北丸 一月廿五日 午前四時出帆
平丸 二月十日
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符御發賣仕候
○御乘船客には本船出帆約一時間前無賃送迎可申候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一〇番 二五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇
中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間門司より五割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行
立神丸 二月 八日後五時出帆
○元山清津浦鹽行
立神丸 一月廿七日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
小倉丸 一月廿五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸 二月 三日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 一月三十日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 二月十 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大員丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船 命令航路 芝罘、大連行
共同丸 一月廿三日後二時入港 一月廿五日前九時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて旅客運輸聯絡取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續荷客共聯絡
第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月 日後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部
榮町（電話二四四七番） 元山代理店 田口回漕部
南大門通（電話二六八、二〇一七） 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船 仁川出帆
全羅丸 一月 日
京畿丸 二月 二日
黃海丸 一月廿七日
咸鏡丸 二月 六日
釜山發
京城南大門通 京城荷客取次店 松原運送店 （電話一二七番）
穩城丸 一月廿四日
昌平丸 二月 一日
鏡城丸 一月廿八日
元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盈德丸 一月廿九日 釜山發
江陵丸 毎 日（釜山浦項）發
三浦丸 一月廿七日 釜山發
海州丸 毎 日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 一月 日 木浦發
公州丸 二月 一日 木浦發
公州丸 一月廿六日 木浦發
金州丸 一月廿五日 仁川發
江原丸 一月廿六日 仁川發
鹿水丸 一月 日 仁川發
普州丸 一月廿八日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 一月廿四日 群山發
千安丸 一月廿八日 若松發

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
秀吉丸 一月廿五日後四時出帆
大有丸 一月廿八日後四時出帆
神代丸 二月四日後四時出帆
蛟龍丸 二月卅一日後四時出帆
君が代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應じ候 京城日報社 寫眞製版部

●危ないく（放僕の了大） 京城 北

商況
大阪三品
五月限 二三四、七〇 二二四、五〇
六月限 二二五、三〇 二二五、三〇
大阪期米特電
仁川米豆取引所
▲後場保合
▲後場先限
平均 節 十七圓十七錢
[illegible]